

多摩都市モノレール延伸部 沿線まちづくり実施計画



令和8(2026)年3月
東京都

構成

1 計画の目的と位置付け

- 1.1 計画の目的
- 1.2 計画の位置付け

2 地域の現状と社会状況の変化

- 2.1 地域の現状
- 2.2 社会状況の変化

3 地域の将来像

- 3.1 地域の将来像
- 3.2 将来イメージ

4 まちづくりの方向性

- 4.1 分野別のまちづくりの方向性
- 4.2 各駅周辺等のまちづくりの方向性

5 まちづくりの取組の概要

- 5.1 まちづくりのプロジェクトの一覧
- 5.2 まちづくりのプロジェクトの体系

6 まちづくりのプロジェクト

- 6.1 分野別のプロジェクト
- 6.2 各駅周辺のプロジェクト
- 6.3 狭山丘陵等のプロジェクト
- 6.4 プロジェクトの実施ステップ一覧

7 今後のまちづくりの進め方

- 7.1 地域の将来像の実現に向けたロードマップ
- 7.2 まちづくりを先導するリーディングプロジェクト
- 7.3 中長期的なまちづくりのシナリオ（想定）

参考

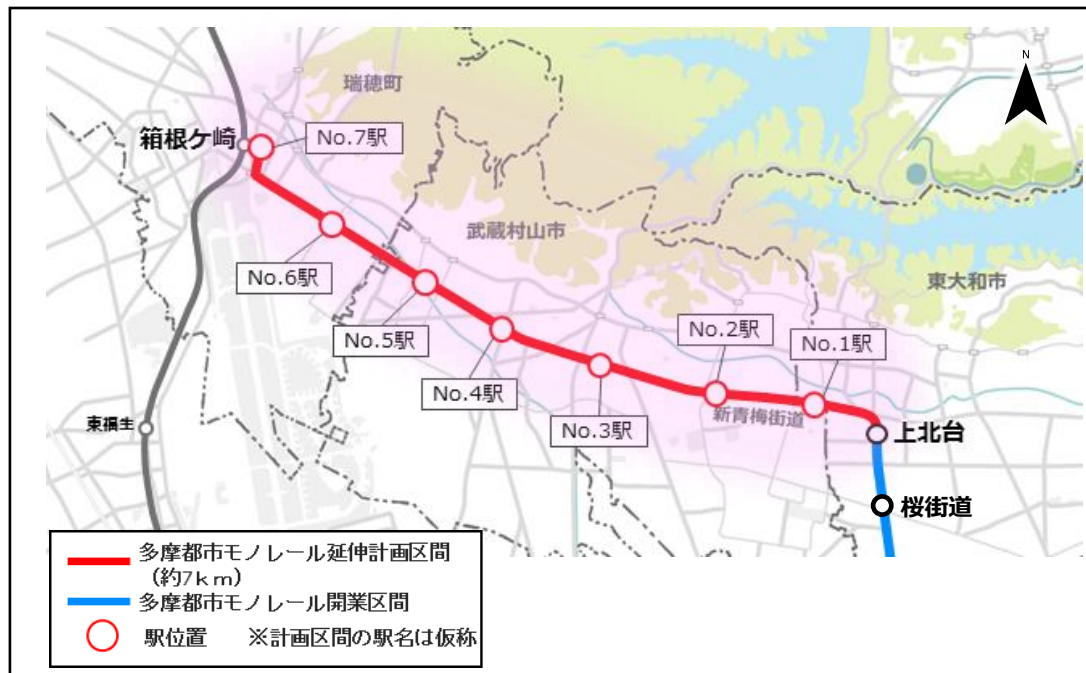
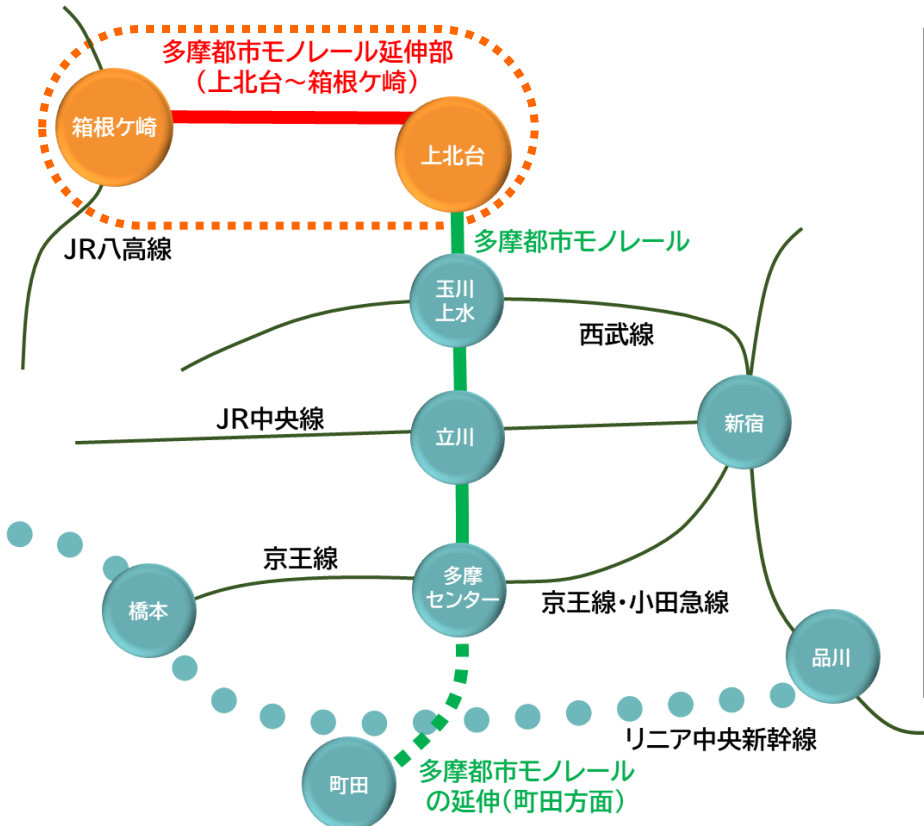
- 参考1 検討の経緯
- 参考2 都民等からの意見募集
- 参考3 地元市町の計画
- 参考4 まちづくりの支援制度

1 計画の目的と位置付け

1 計画の目的と位置付け

1.1 計画の目的

- 多摩都市モノレールは、多摩を南北に縦断する交通ネットワークであり、多摩の成長に欠くことができない基幹的なインフラである。
- 2030年代半ばの開業を目指す多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸は、まちづくりの起爆剤となる。
- 延伸の機会を捉え、その沿線で、狭山丘陵の緑豊かな環境や食・農・工など特徴ある地域産業を生かしたまちづくりを進め、多摩の魅力を引き上げていく。

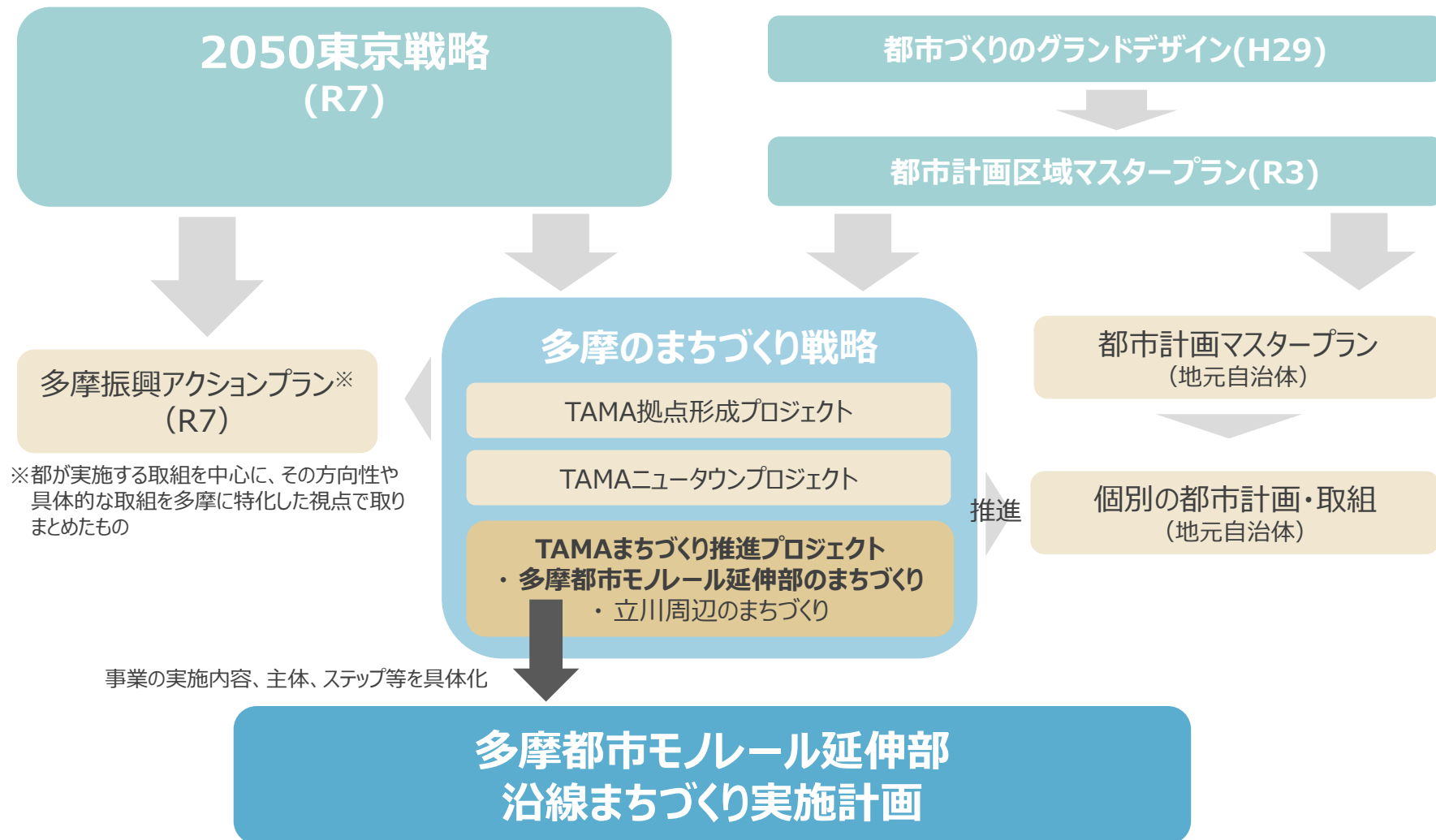


多摩都市モノレール延伸部（上北台～箱根ヶ崎）

1 計画の目的と位置付け

1.2 計画の位置付け

- 本計画は、多摩のまちづくり戦略で示した、多摩都市モノレール延伸部の地域の将来像やプロジェクトのコンセプトを踏まえ、事業の実施内容、主体、ステップ等を示すものである。今後、事業の進捗や関係者での議論・調整を踏まえ、適時、内容を見直し・具体化していく。



2 地域の現状と社会状況の変化

2 地域の現状と社会状況の変化

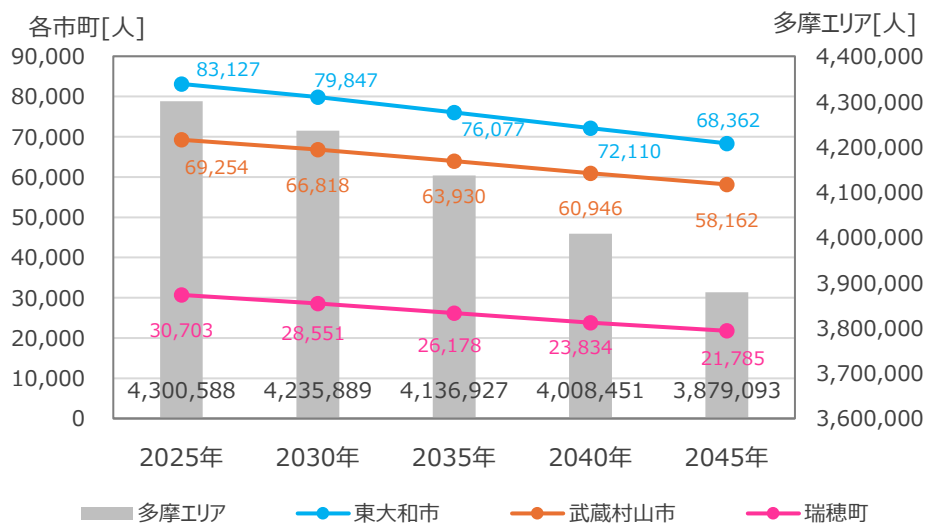
2.1 地域の現状

- 多摩都市モルレル延伸部の沿線の現状について、人口、インフラ、産業、生活、防災・環境、農・緑及び地域資源の7項目に分類し分析する。



- 多摩エリア[※]及び地元市町では、人口減少が継続 (①)
- 区部と比較して、合計特殊出生率は高い。(②)
- 65歳以上の単独世帯は、多摩エリアで増加が予測され、地元市町では2045年に2020年の約1.1倍に増加 (③)

【多摩エリア、地元市町の人口推移】①



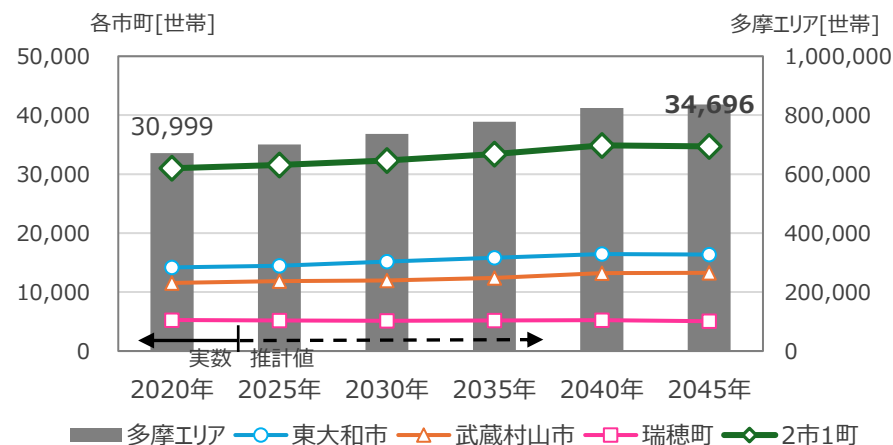
資料：東京都男女年齢（5歳階級）別人口の予測（令和7年3月）（東京都総務局）を基に作成

【令和6年の合計特殊出生率】②

合計特殊出生率	区部	多摩（市部）	東大和市	武蔵村山市	瑞穂町
	0.96	1.04	1.17	1.03	0.99

資料：東京都人口動態統計 年次推移（市町村別）（東京都保健医療局）を基に作成

【65歳以上の単独世帯数の予測（2020年=100）】③



資料：東京都世帯数の予測（東京都総務局）を基に作成

※多摩エリア：多摩地域全域の都市計画区域（以下この章において同じ）

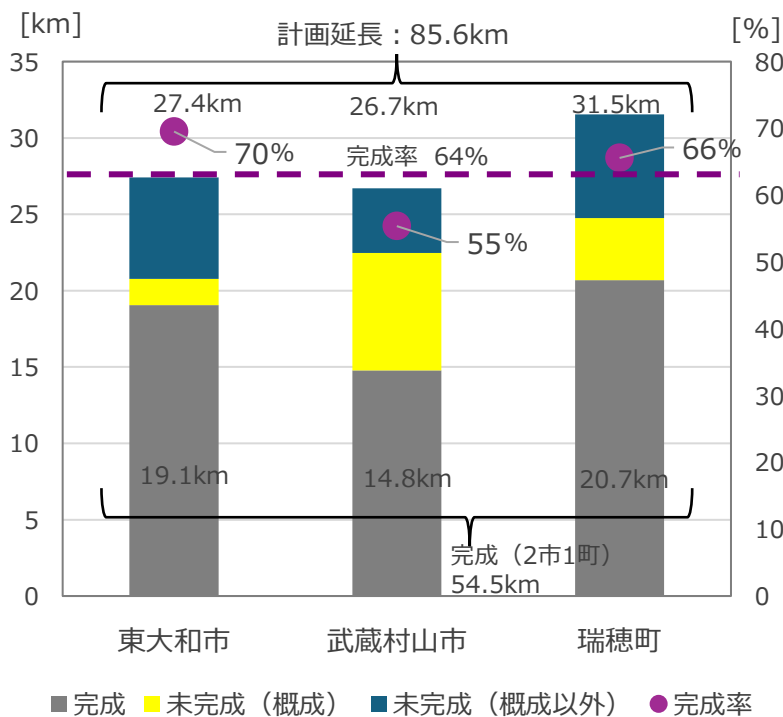
2 地域の現状と社会状況の変化

2.1 地域の現状

インフラ

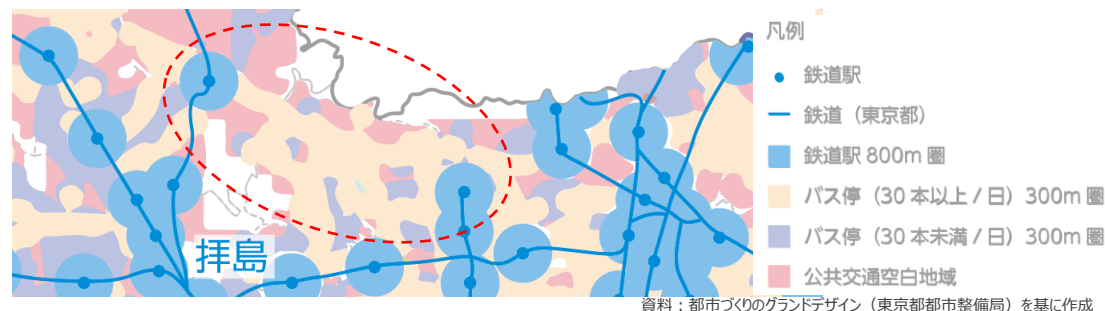
- 地元市町の都市計画道路の整備状況は、計画延長85.6kmのうち、完成延長54.5km、完成率64%（①）
- 通勤における交通分担率は、東京都や多摩全体の平均と比較して、自動車の分担率が高く、鉄道の分担率が低い。（②、③）

【都市計画道路の整備状況】①

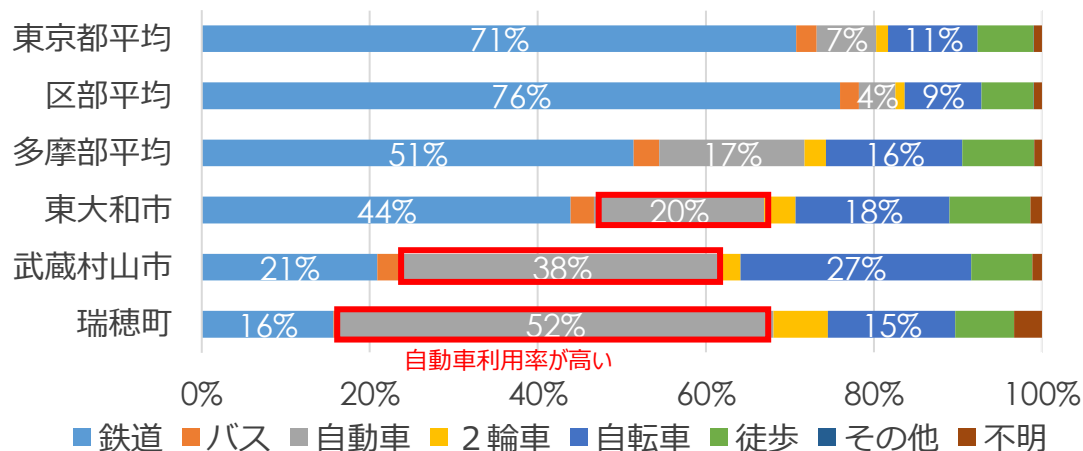


資料：令和6年都市計画現況調査（国土交通省）を基に作成

【公共交通空白地域】②



【交通分担率（通勤）】③



出典：平成30年東京都圏内パーソナルトリップ調査

2 地域の現状と社会状況の変化

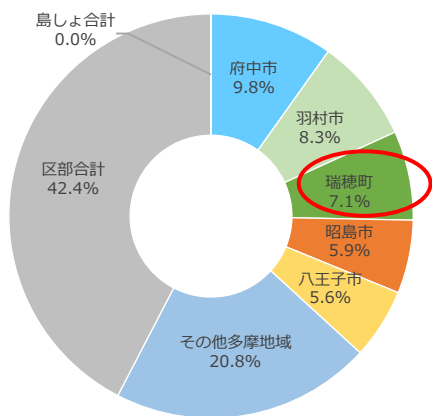
2.1 地域の現状

産業

- 都内の製造品出荷額等では、瑞穂町が第3位、多摩エリアの事業所数では、瑞穂町が第2位、武蔵村山市が第5位（①）
- 瑞穂町の事業所の経営上の課題としては、従業員の高齢化や人材確保が挙げられている。（②）

【製造品出荷額、都内での構成比等】①

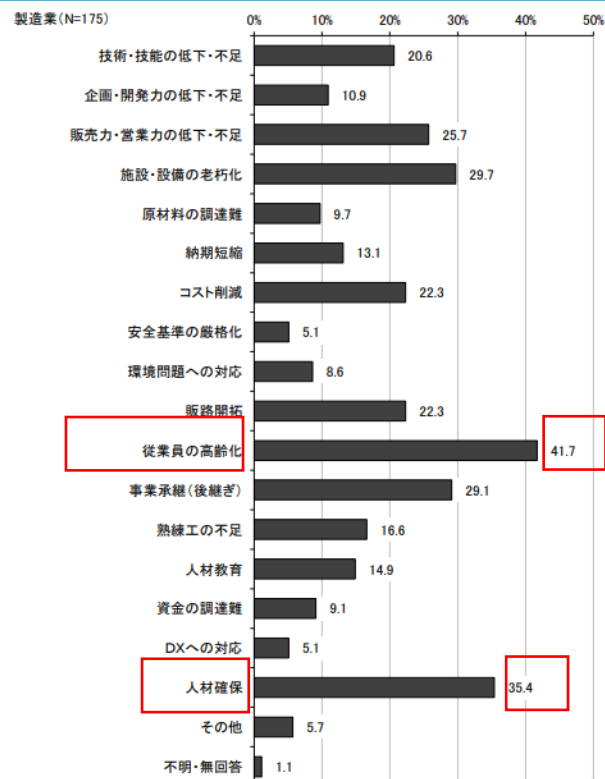
市町	製造品出荷額	事業所数	従業者数	工業地区面積
東大和市	707億5,788万円	37事業所	1,626人	17.71ha
武蔵村山市	1,090億4,160万円	114事業所	4,545人	77.97ha
瑞穂町	5,051億9,214万円	209事業所	6,478人	186.02ha



資料：令和3年経済センサス-活動調査（経済産業省）を基に作成

※令和2（2020）年1月～令和2（2020）年12月の実績
産業別集計・製造業・地域編を集計

【事業所の経営上の課題（瑞穂町）】②



出典：瑞穂町産業振興ビジョン（令和4年3月 瑞穂町）

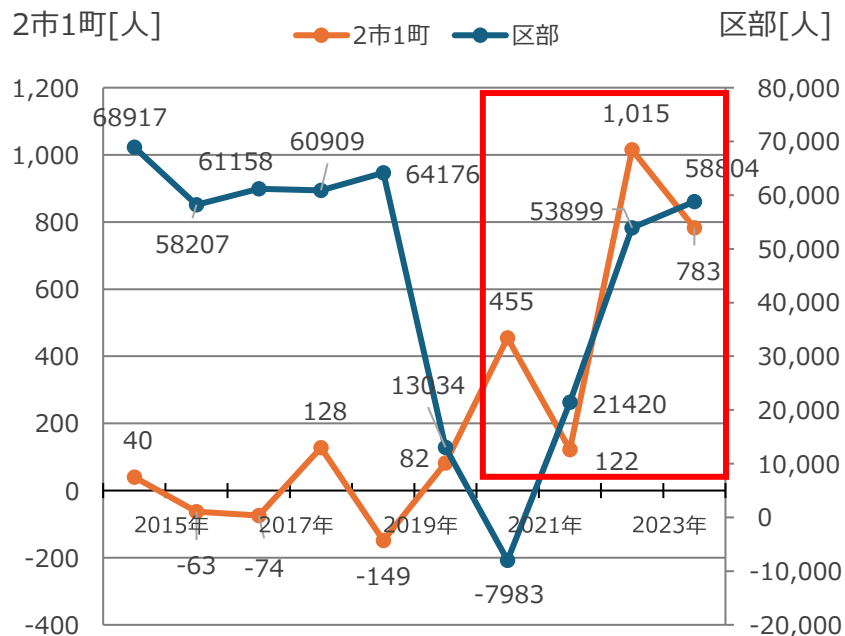
2 地域の現状と社会状況の変化

2.1 地域の現状



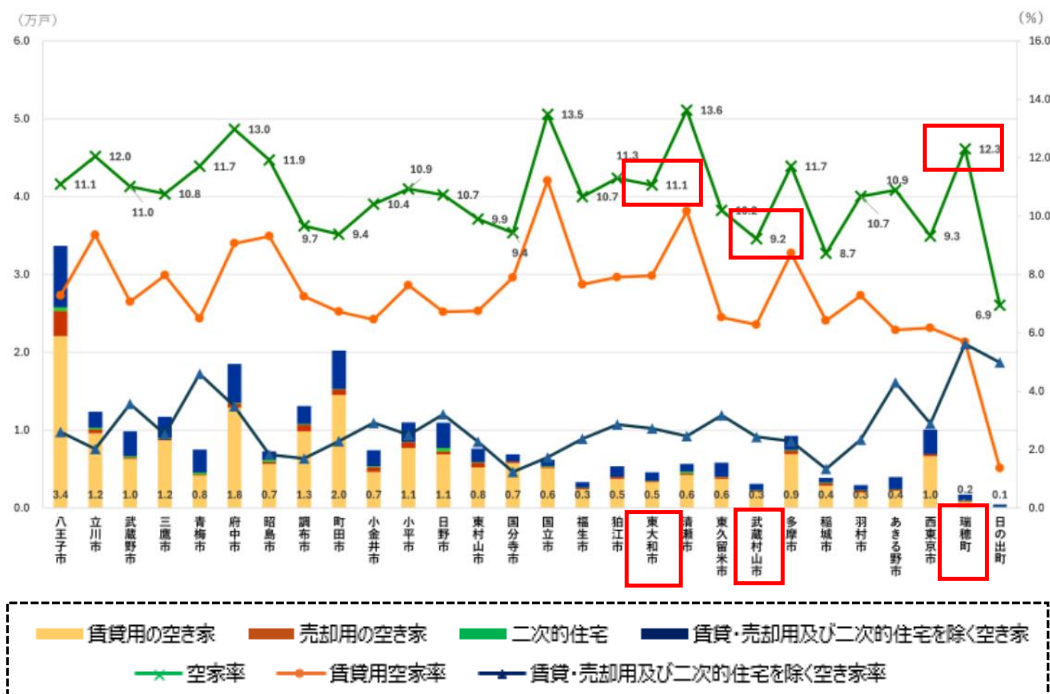
- 地元市町では、コロナ禍以降、転入超過で人口は推移 (①)
- 約1割が空家 (空き家率：東大和市11.1%、武蔵村山市9.2%、瑞穂町12.3% (2023年)) (②)

【転入超過人口の推移】①



資料：住民基本台帳人口移動報告書（総務省統計局）を基に作成

【空き家数・空き家率】②



出典：東京都の空き家の現状（東京都住宅政策本部）

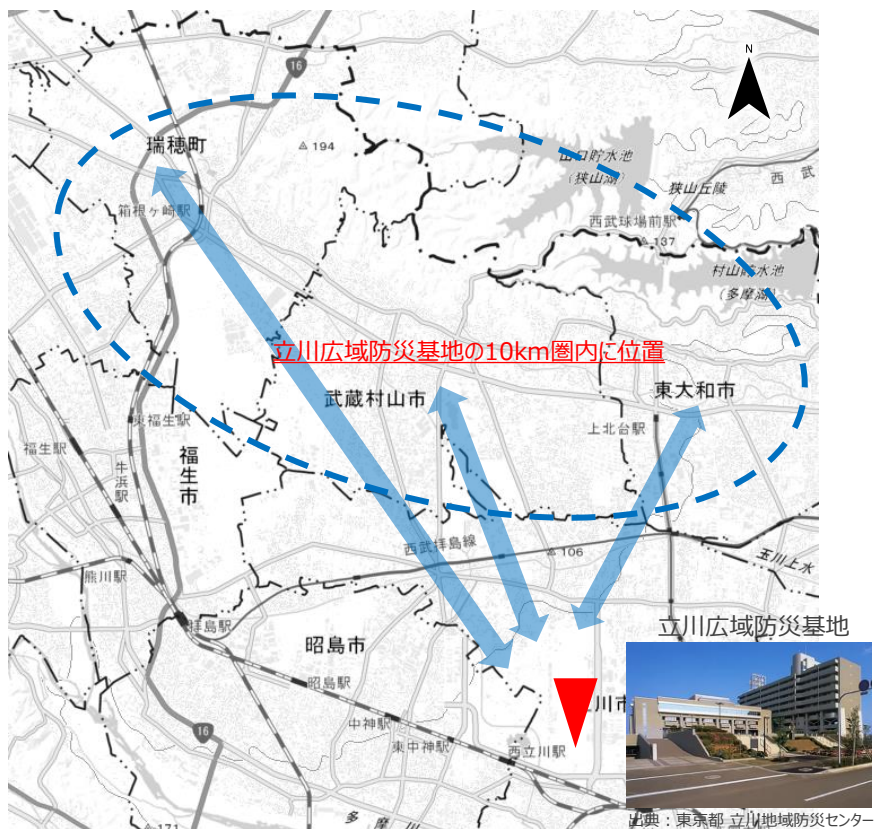
2 地域の現状と社会状況の変化

2.1 地域の現状

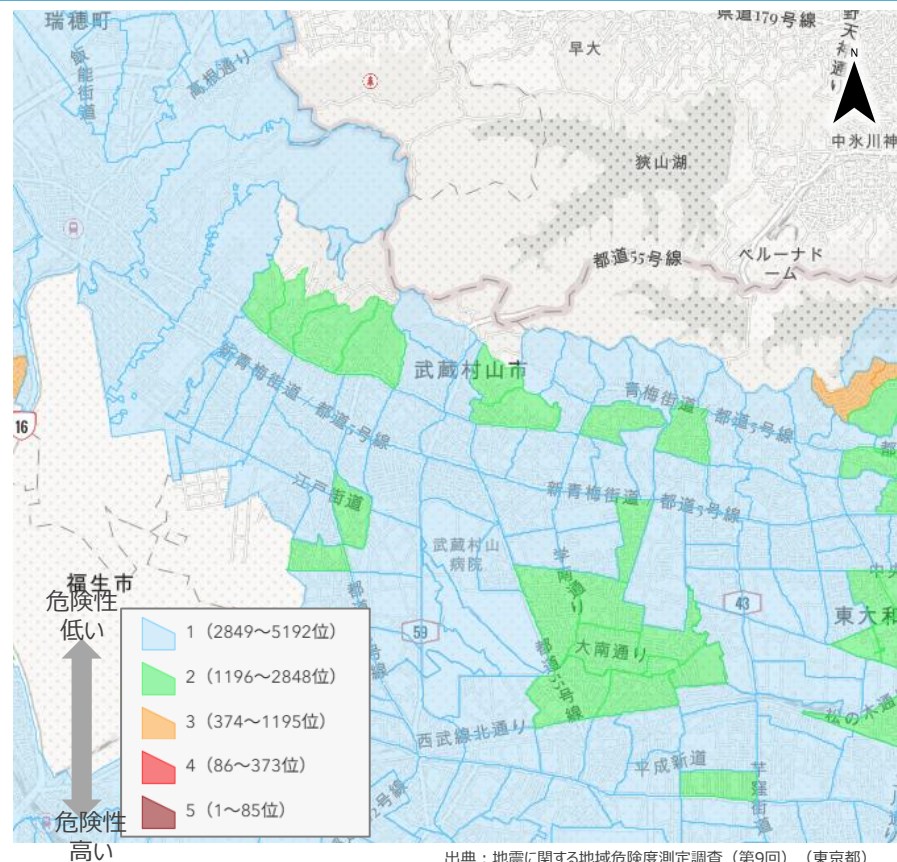
防災・環境

- 延伸部の沿線は、広域的な災害の発生時に緊急輸送の拠点となる立川広域防災基地から10km圏内に位置 (①)
- 地震による危険性が比較的低い。(地元市町の大半の町丁目は、地震に関する地域危険度のランク1又は2に該当) (②)

【延伸部の沿線と立川広域防災基地】①



【地震に関する地域危険度 (総合危険度)】②



2 地域の現状と社会状況の変化

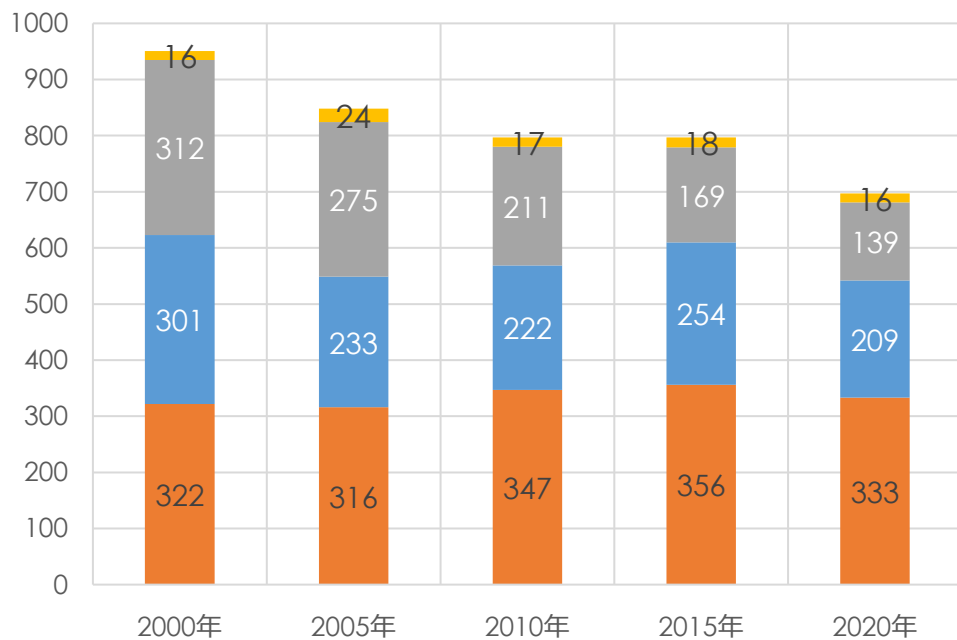
2.1 地域の現状

防災・環境

- 地元市町の部門別のCO₂排出量の推移では、産業及び運輸で減少、民生で増加（2000年比）（①）
- 再生可能エネルギー（太陽光）による発電電力量が増加（②）

【CO₂排出量（推計）の推移（地元市町）】①

（単位：1000t-CO₂）

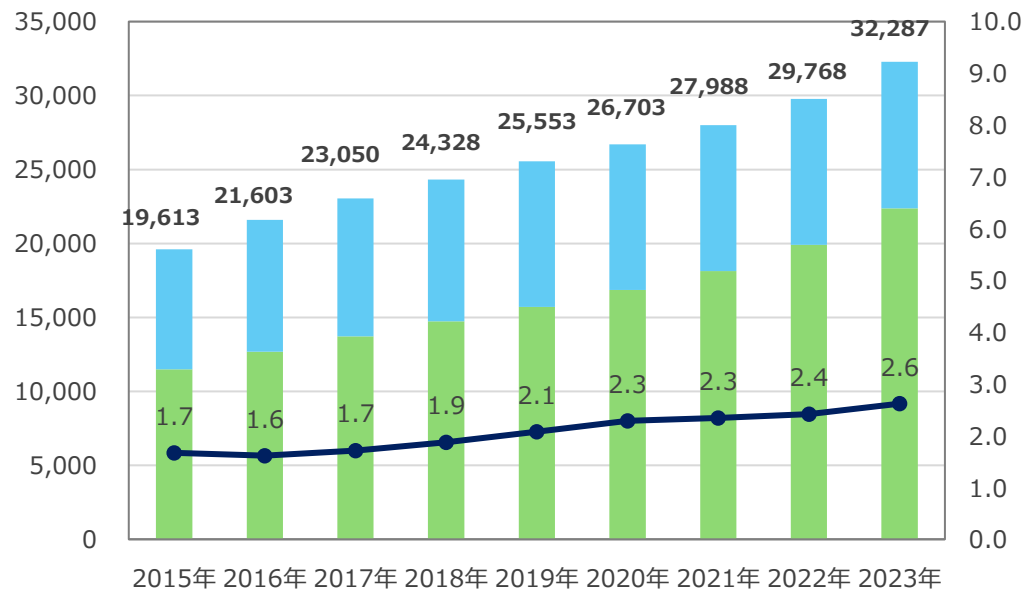


■ 民生部門 ■ 産業部門 ■ 運輸部門 ■ 廃棄物部門

資料：オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト HP 「ECOネット東京62」を基に作成

【太陽光による発電電力量の推移（地元市町）】②

[kW] [％]



■ 太陽光発電 (10kW未満) ■ 太陽光発電 (10kW以上) ● 対消費電力FIT導入比

資料：自治体排出量カルテ（環境省）を基に作成

2 地域の現状と社会状況の変化

2.1 地域の現状



- 武蔵村山市の農業算出額は、多摩地域で第1位 (①)
- 地元市町の人口1人当たりの公園面積は、多摩エリア平均より大きい。(②)

【農業産出額】①

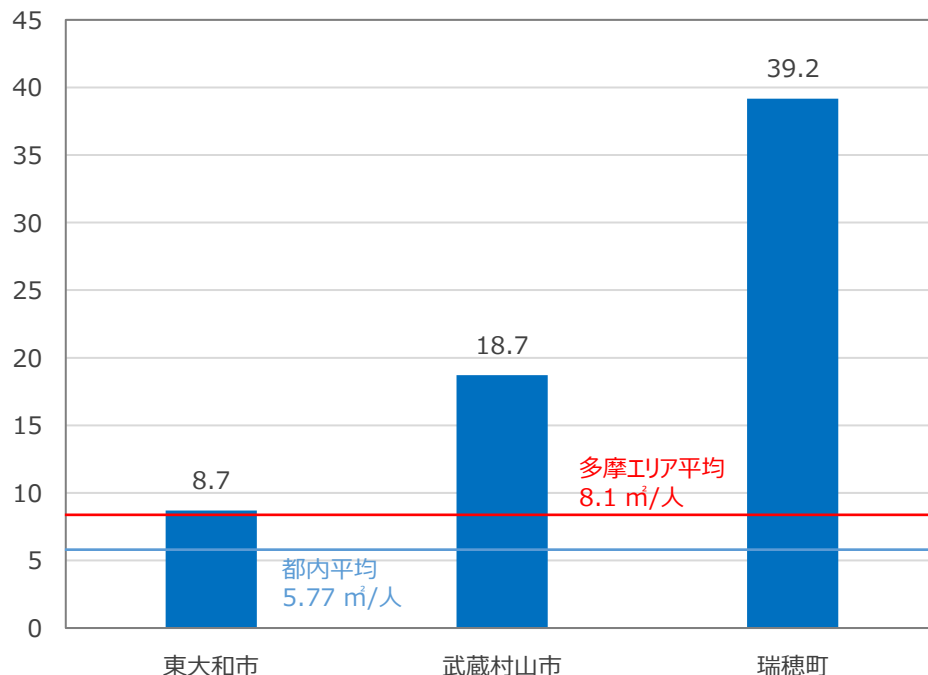


	いも類	野菜	果実	花き	茶	肉用牛	乳用牛
東大和市	10	70	50	0	0※	0	0
武蔵村山市	10	1,170	40	0	10	0	10
瑞穂町	10	160	10	50	20	10	220

※製茶園等(はあり) 資料：市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)を基に作成

【1人当たり公園面積】②

[m²/人]



※東京都立公園条例に基づく面積の標準10.0 m²/人

資料：東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表(東京都建設局)を基に作成

2 地域の現状と社会状況の変化

2.2 社会状況の変化

デジタルなど新たな技術の発展

- 世界中でデジタル化の流れが急激に加速
- AIやIoTなどの情報技術の社会実装やスマートシティなどの取組が推進

ライフスタイルの多様化（新たな暮らし方・働き方が浸透）

- コロナ禍を契機として、テレワーク利用の増加などの新たな働き方・暮らし方が浸透

気候危機と新たなエネルギー政策の進展

- 気候危機が一層深刻化する中、2030年カーボンハーフ、2050年ゼロエミッションの実現に向けて、気候変動対策の抜本的な強化・徹底及び都市の強靱化の推進が不可欠

広域的なインフラの充実等

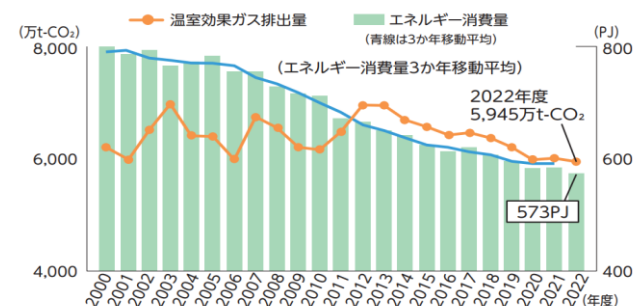
- 東京都内における首都圏中央連絡自動車道の全線開通により、人・モノの交流が活発化
- ウォークアブルな空間の創出など、人や暮らしを大切にしたまちづくりが進展

<参考>

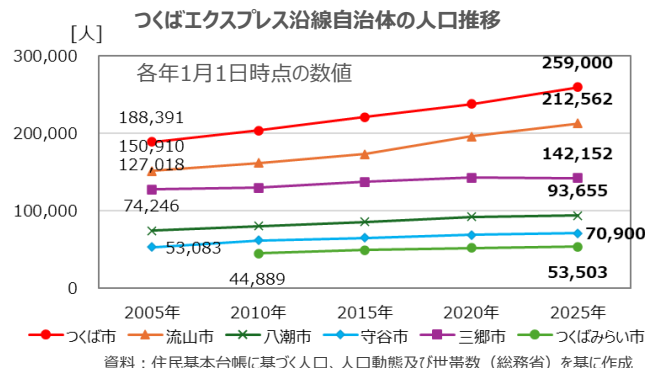
- 2005年8月に開業した「つくばエクスプレス」や2008年3月に開業した「日暮里・舎人ライナー」の沿線では、鉄道の整備とあわせてまちづくりの推進により、沿線の人口が増加



【スマート東京（東京版Society5.0）】
出典：「未来の東京」戦略（東京都政策企画局）令和3年3月



【温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の推移】
出典：CREATING A BRIGHTER FUTURE FOR ALL～未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京へ～（東京都環境局）令和6年9月



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）を基に作成

3 地域の将来像

3 地域の将来像

3.1 地域の将来像

- 多摩都市モノレール延伸を契機として、沿線の緑豊かな環境や特徴ある産業など地域の個性や魅力をいかし、社会状況の変化に対応した新たなライフスタイルを実現するまちづくりの考え方や、目指すべき地域の将来像を以下に示す。

1 まちづくりの考え方

緑豊かなまちで「働く」、「暮らす」、「遊ぶ」
をコンプリート

7つの駅が特徴を生かして輝き、
エリア全体で一体的なまちを形成

都心等へのアクセス性の
良さによる利便性も享受

従来の郊外駅周辺

- ・都心への通勤駅を中心に、銀行やスーパー等、生活に必要な機能が集積
 - ・周辺に住宅地を配置
- ⇒均質で合理的な機能のまち

多摩都市モノレール延伸部

- ・駅間が近く各駅の特徴を融合しやすい特色を生かして、沿線地域が連坦して一体的なまちを形成
 - ・新設される駅を中心に、エリアごとに機能分担
- ⇒エリア全体が一体となり新たなライフスタイルを実現する
これまでにないまち

2 地域の将来像

『新しい暮らし方・働き方のモデルとなり、
多様な都市機能が人を呼び込み、
緑の恵みを最大限にいかしたまち』

3 地域の将来像

3.2 将来イメージ

- 2050年代における多摩都市モルール延伸部の明るい未来及び目玉となるまちの魅力をイメージとして示す。

ト 人やコトとの出会いにより子供・若者が成長し未来を創るまち！



豊かな自然や多様な世代との交流がある持続可能なまちを形成

- ✓ 多摩ならではの**緑豊かなスマートタウン**
(食料やエネルギーを自給自足、多摩産材の家など)
- ✓ 日々新しい人やコトと出会える、**まちなかの交流拠点**
(村山団地の創出用地等の活用など)
- ✓ 次代を担うグローバル人材を育成する特長ある新たな教育
→ **自然や地域と一体となった体験型学習**
→ **魅力ある教育施設(高校、大学等)**

ト 高尾山と並ぶ東京屈指の観光スポットへ！



東京が誇る湖、多摩湖を抱える狭山丘陵の自然・緑を最大限に活用

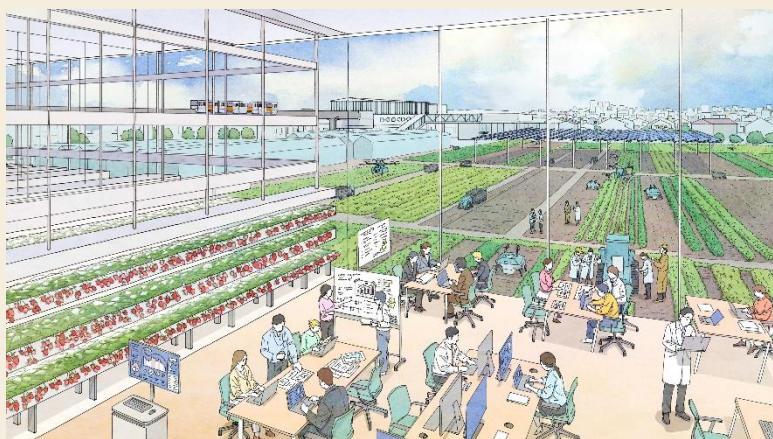
- ✓ 「**湖一望カフェテラス&ホテル**」
- ✓ 「水」を生かした**ナイトタイム**も楽しめるまち
(プール、温泉など)
- ✓ 狭山丘陵が「**サイクリング、ランニングの聖地**」に
(サイクルフェスタ、多摩湖マラソンなど)
- ✓ 都心近くの**非日常的な自然体感フィールド・観光拠点**

3 地域の将来像

3.2 将来イメージ



企業や住民が主導する新たなまちづくりの発祥地に！



新たな産業及びまちづくりの担い手を呼び込み、地域全体を活性化

- ✓ シビックプライドを醸成する民間主導でのまちのシンボル
(村山デエダラまつりなど企業・住民によるまちの活性化など)
- ✓ 企業立地支援→アグリテック等の新産業創出の拠点
- ✓ 再生可能エネルギー・新エネルギーの導入
→東京をリードするゼロエミモデル地区
(エネルギーの地産地消など)
- ✓ 空き家・古民家の再生等による魅力的な街並み、ストリート
(まちの風景をみんなでつくるなど)



人が集まり、楽しみ、憩い、交流する駅前！



人中心の空間の創出によりウェルビーイングを向上

- ✓ 子供から高齢者まで誰もが楽しみ、憩い、交流できる広場
(祭り、マルシェ、ダンスイベント等)
- ✓ 商業、医療・福祉及びサテライトオフィス機能を集積した施設
- ✓ まちの情報を提供するデジタルサイネージ
- ✓ 次世代モビリティ等により誰もが移動しやすい交通環境
(自動運転・EVバス、小型モビリティ、シェアサイクルなど)

3 地域の将来像

3.2 将来イメージ



美しい風景とにぎわいが人を惹きつけるまち！



ここにしかない個性や特徴を磨き上げ、地域の価値を持続的に向上

- ✓ 狭山丘陵の緑やモルルールと一体となった風景
- ✓ 人の表情やアクティビティが見えるまち
(農の「景」、踊る「景」、子育ての「景」など)
- ✓ まちを象徴する特徴ある駅舎デザイン
- ✓ 緑と水を感じながら歩いて暮らせるまち
(生活に必要な機能が駅周辺に集約など)

Column 沿線ライフのイメージ

多摩都市モノレール延伸部の沿線を舞台として、住む、働く、訪れる人の想定される多彩なシーンの一端を描きました。



住む

都立高校に通う学生。緑豊かな地元が大好きで、将来も住み続け、モノづくり関係の仕事をしたい。



放課後には、小学生の妹と一緒に、モノレールに乗って、沿線にある交流拠点やショッピングセンターへ気軽に出掛けられるようになった。



休日には、駅の近くにある広場でダンスイベントやマルシェが開催され、親や近所に住む人と一緒に参加している。



働く

メーカーで働くシステムエンジニア。家庭菜園を持ちたくて、都心から引っ越してきた。



沿線のサテライトオフィスや自然に囲まれたワーケーション施設など、その日その日で、気持ちをリフレッシュしながら、働いている。



最近、家の近くにある家庭菜園で始めた農業体験が話題となり、モノレールに乗って、都心や他県からも多くの人々が来るようになった。



訪れる

都心に住む建築家。個性的な駅舎のデザインやリノベーションされた空き家を見たくて、沿線を訪れた。



狭山丘陵にも足を延ばし、多摩湖の景色を楽しみながらのサイクリングや、村山かてうどん・東京狭山茶を味わうなど、沿線の魅力を満喫した。



夕方には、温泉で汗を流し、モノレールで帰路についた。次は、キャンプ場でのバーベキューや湖が一望できるホテルへの宿泊もしてみたい。

4 まちづくりの方向性

4 まちづくりの方向性

4.1 分野別のまちづくりの方向性

- 地域の将来像の実現に向けて、地元市町とも連携して沿線地域一体で広域的なまちづくりに取り組むため、以下の6分野でエリア全体を束ねる分野別のまちづくりの方向性を定める。

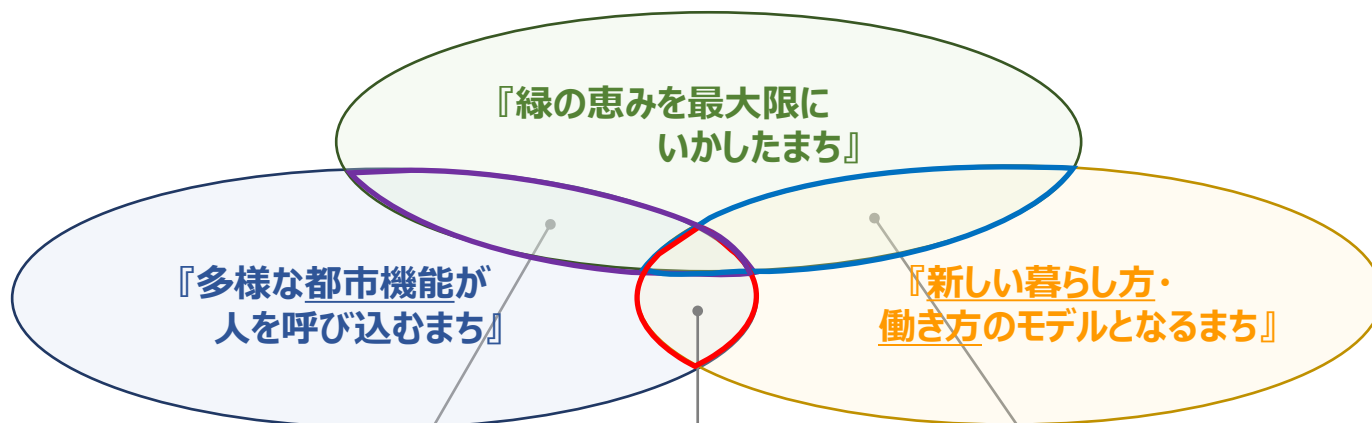
分野	まちづくりの方向性	取組の方向性
(分野1) 子育て・暮らし	・子供に愛され続け、 持続的に発展 する	・特長ある教育が子供を育む ・多様な働き方が選べる（ライフとワークの両立）
(分野2) 観光・交流・文化	・訪れ・滞在する人々が、 地域に溶け込む	・豊かな緑で人々が交流 ・地域のポテンシャルをいかして多くの人を惹きつける
(分野3) 産業	・特徴ある地域産業で イノベーション や活力を起こす	・D Xや人的資源で地域の活力を向上 ・持続可能な地域経営の促進
(分野4) エネルギー・環境	・再生可能エネルギー等を活用した ゼロエミッション を実現する	・地域でエネルギーが融通され環境にやさしく暮らす
(分野5) インフラ	・道路ネットワークや様々な交通モードを活用して 容易に移動 ・ まちの象徴となるような駅をデザイン する	・自動運転等で誰もが地域内をアクセスフリーに移動 ・特徴ある駅舎を各駅に整備し、延伸部のまちの象徴とする
(分野6) 土地利用・景観	・主要な駅周辺や身近な中心地に 様々な都市機能 を集積し、歩いて暮らす ・まちの風景や狭山丘陵の眺望が 人々を魅了し、引き付ける	・各駅の特徴を誘導する土地利用を促進 ・駅も含めて、まちの景観をトータルデザイン ・近景、遠景を意識したスカイラインを形成

4 まちづくりの方向性

4.2 各駅周辺等のまちづくりの方向性

- 地域の将来像を実現するため、多摩都市モノレール延伸部沿線の地域資源等を踏まえ、エリアごとで担う主な機能とまちづくりの方向性を、以下に示す。

(地域の将来像)



(エリアごとで担う主な機能とまちづくりの方向性)

緑の恵み + 都市機能

(WEST)

最新技術を活用した産業の育成、
集約、新たな農業などにより産業の
エリアを形成

都市機能 + 新しい暮らし方・働き方

(MIDDLE)

商業、医療、スポーツ、行政機能など
多様な都市機能が集積したにぎわい
のエリアを形成

緑の恵み + 新しい暮らし方・働き方

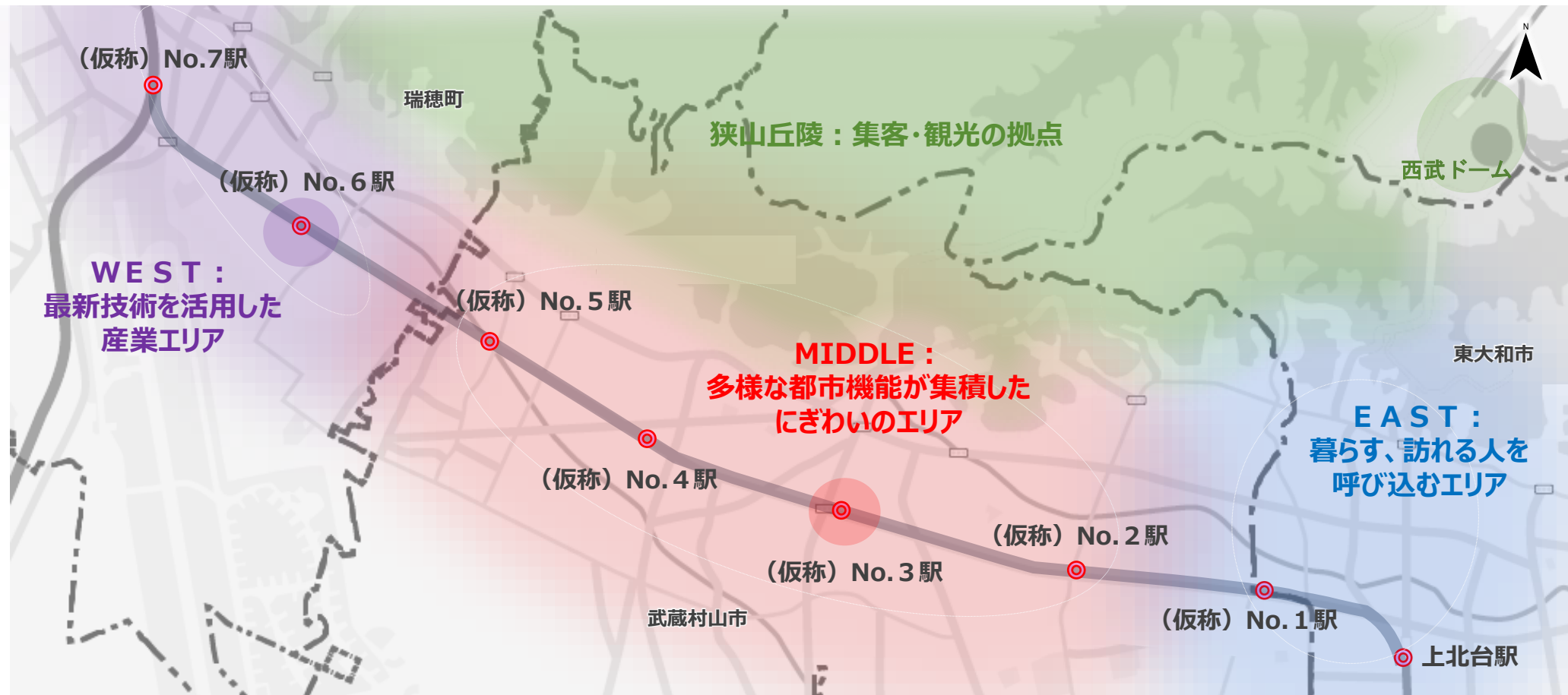
(EAST)

狭山丘陵を生かした特長ある教育や
働き方、アクティビティなどが、暮らす、
訪れる人を呼び込むエリアを形成

4 まちづくりの方向性

4.2 各駅周辺等のまちづくりの方向性

- エリアごとのまちづくりを支える各駅周辺等のまちづくりの方向性を、以下に示す。
- 多摩都市モノレール延伸部沿線地域の特徴である狭山丘陵を集客・観光の拠点として活用する。



(仮称) No.7駅 :
モノレールとJRで結ばれる西側の玄関口

(仮称) No.6駅 :
先進農業などイノベーションを創出するまち

(仮称) No.5駅 :
多世代が交流する活力あふれるまち

(仮称) No.4駅 :
スポーツアクティビティが人を呼び込むまち

(仮称) No.3駅 :
機能が集積されたコアシティ

(仮称) No.2駅 :
医療を中心としたメディカルタウン

(仮称) No.1駅 :
先進的な子育てで主体的に子供が成長できるまち

上北台駅 :
狭山丘陵のゲートシティ

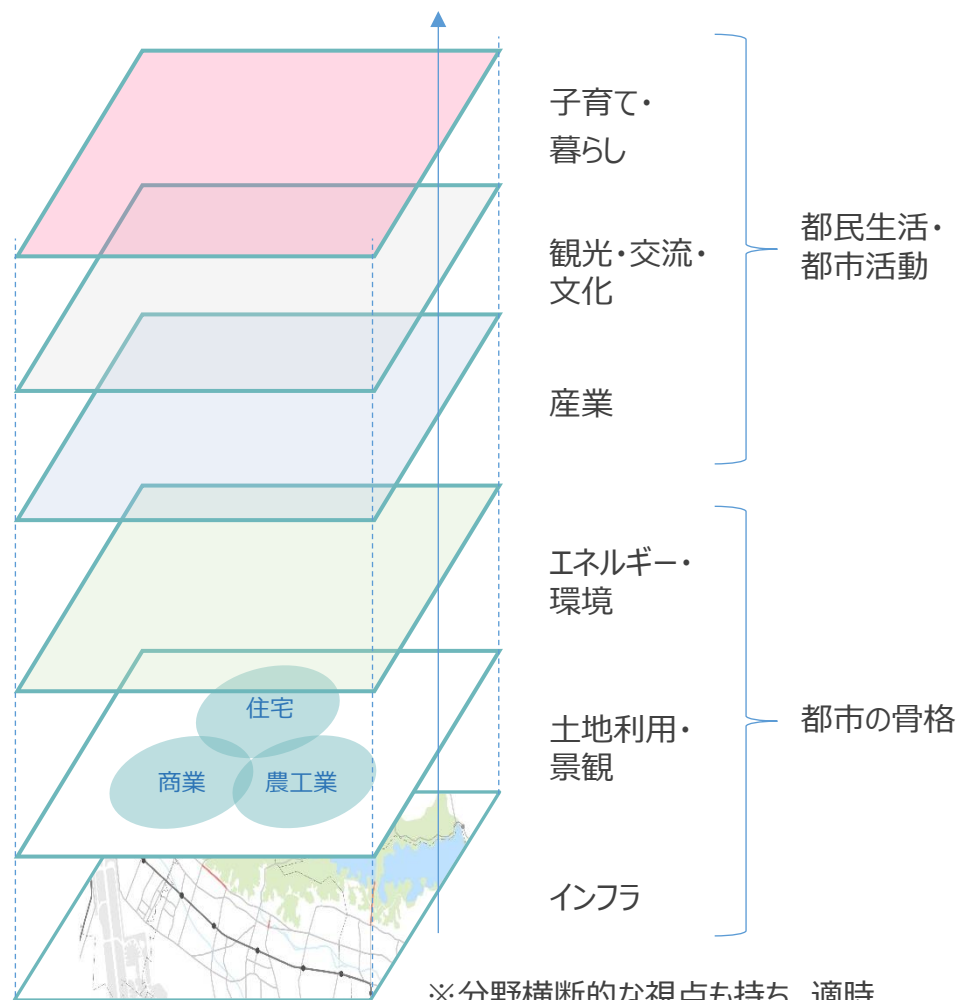
5 まちづくりの取組の概要

5 まちづくりの取組の概要

5.1 まちづくりのプロジェクトの一覧

- インフラや土地利用等の分野のプロジェクトにより、都市の骨格を形成するとともに、子育てや観光、産業等の分野のプロジェクトにより、都民生活や都市活動の更なる充実を図っていく。

分野	No.	プロジェクト
子育て・暮らし	①	自然や地域と結びついた子育ての発信
	②	新たなスマートタウンの整備
	③	ウェルネス拠点の形成
	④	水辺空間を活用した交流拠点の形成
観光・交流・文化	⑤	まちの魅力を体感するツーリズムの展開
	⑥	観光拠点・宿泊拠点の整備
	⑦	野山北公園自転車道の再整備
	⑧	多摩湖を活用したにぎわい創出
産業	⑨	モノづくりムーブメントの展開
	⑩	地域が誇る「食」「農」「工」の見本市
	⑪	次世代の産業拠点の形成
エネルギー・環境	⑫	再生可能エネルギーの実装
	⑬	緑と水のネットワークの形成
インフラ	⑭	道路ネットワークの充実・強化
	⑮	交流を生み出す駅前広場等の整備
土地利用・景観	⑯	地域を象徴するまちなみ・風景の創出
	⑰	歩いて暮らせるまちづくり
	⑱	まちづくり発信プラットフォームの構築



※分野横断的な視点も持ち、適時プロジェクト間の連携を図りながら実施

5 まちづくりの取組の概要

5.2 まちづくりのプロジェクトの体系

地域の将来像

新しい暮らし方・働き方のモデルとなり、

多様な都市機能が人を呼び込み、

緑の恵みを最大限にいかしたまち

まちづくりの方向性

(分野1) 子育て・暮らし

子供に愛され続け、**持続的に発展**する

(分野2) 観光・交流・文化

訪れ・滞在する人々が、**地域に溶け込む**

(分野3) 産業

特徴ある地域産業で**イノベーション**や活力を起こす

(分野4) エネルギー・環境

再生可能エネルギー等を活用した**ゼロエミッション**を実現する

(分野5) インフラ

・道路ネットワークや様々な交通モードを活用して**容易に移動**
・まちの象徴となるような**駅をデザイン**する

(分野6) 土地利用・景観

・主要な駅周辺や身近な中心地に**様々な都市機能**を集積し、歩いて暮らす
・まちの風景や狭山丘陵の眺望が**人々を魅了し、引き付ける**

まちづくりのプロジェクト

- ① 自然や地域と結びついた子育ての発信
- ② 新たなスマートタウンの整備
- ③ ウェルネス拠点の形成
- ④ 水辺空間を活用した交流拠点の形成

- ⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開
- ⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備
- ⑦ 野山北公園自転車道の再整備
- ⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出

- ⑨ モノづくりムーブメントの展開
- ⑩ 地域が誇る「食」「農」「工」の見本市
- ⑪ 次世代の産業拠点の形成
- ① 自然や地域と結びついた子育ての発信 ※再掲

- ⑫ 再生可能エネルギーの実装
- ⑬ 緑と水のネットワークの形成
- ② 新たなスマートタウンの整備 ※再掲

- ⑭ 道路ネットワークの充実・強化
- ⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備
- ⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出
- ⑬ 緑と水のネットワークの形成 ※再掲

- ⑰ 歩いて暮らせるまちづくり
- ⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出

- ⑱ まちづくり発信プラットフォームの構築

WEST :
最新技術を活用した産業エリア

MIDDLE :
多様な都市機能が集積したにぎわいのエリア

EAST :
暮らす、訪れる
人を呼び込むエリア

(仮称)No.7駅
モノレールと
JRで結ばれる
西側の玄関口

(仮称)No.6駅
先進農業など
イノベーションを創
出するまち

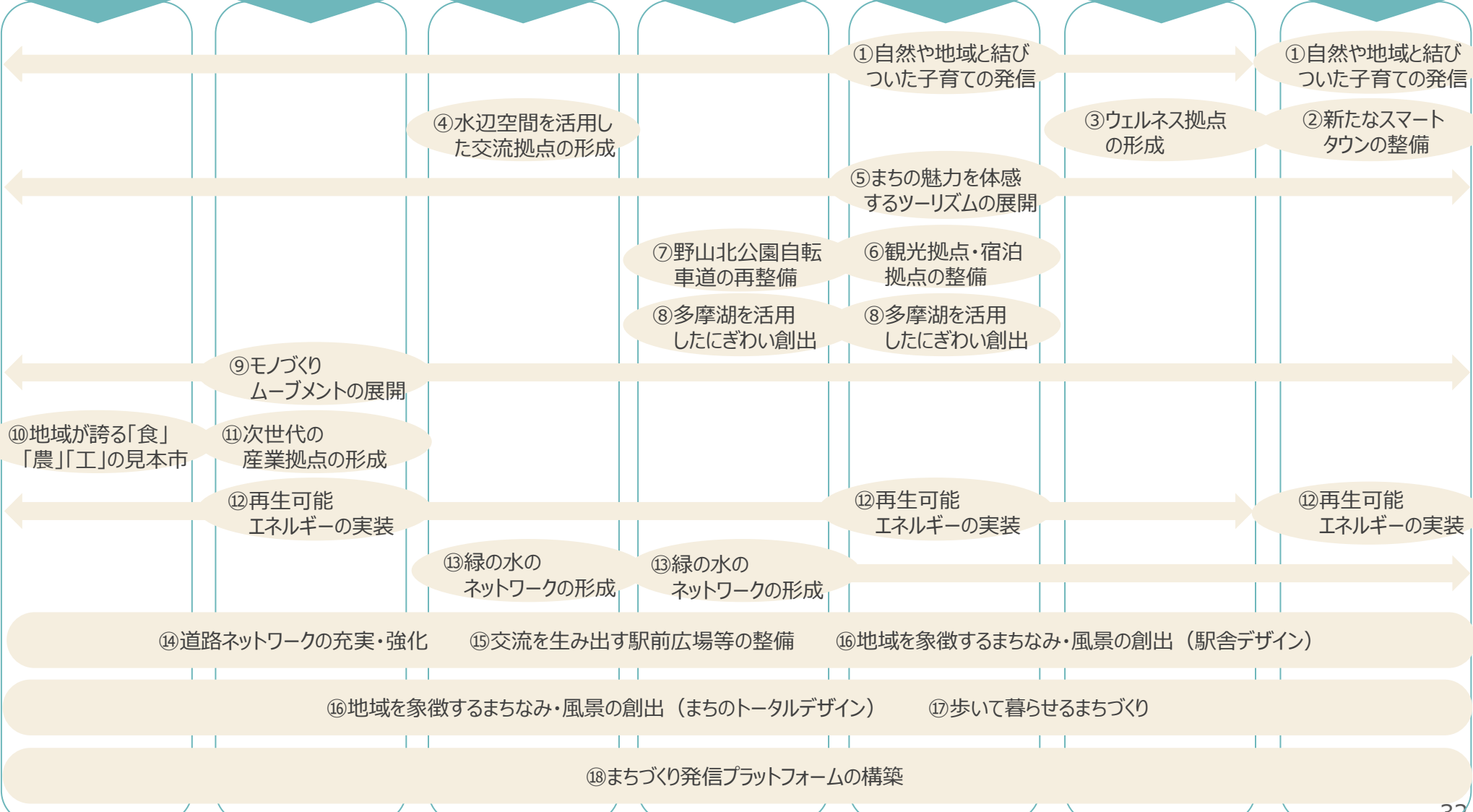
(仮称) No.5駅
多世代が
交流する
活力あふれるまち

(仮称) No.4駅
スポーツアク
ティビティが人を
呼び込むまち

(仮称) No.3駅
機能が
集積された
コアシティ

(仮称) No.2駅
医療を中心と
したメディカル
タウン

(仮称) No.1駅
先進的な子育て
で主体的に子供
が成長できるまち

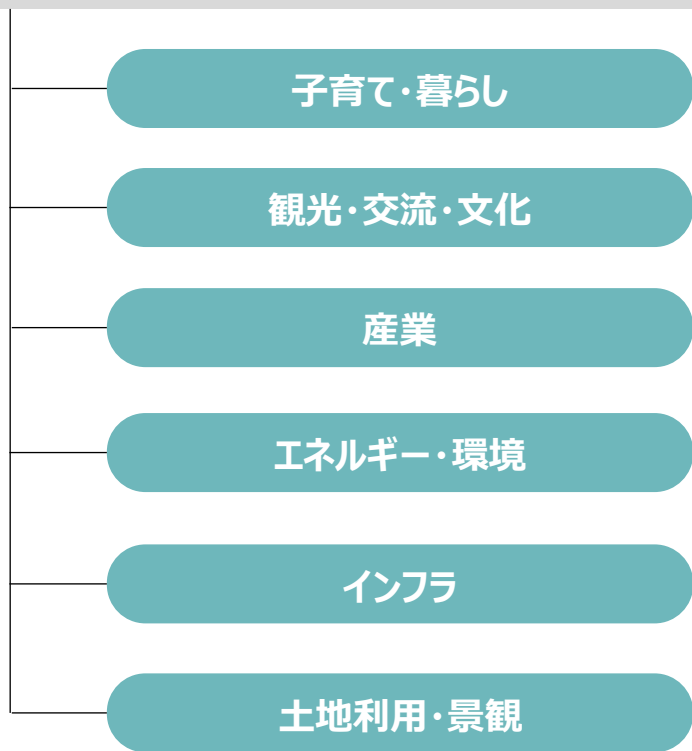


6 まちづくりのプロジェクト

6 まちづくりのプロジェクト

- まちづくりのプロジェクトについて、子育て・暮らし、観光・交流・文化、産業、エネルギー・環境、インフラ及び土地利用・景観の分野別（→6. 1）、（仮称）No.1～7 駅の各駅周辺（→6. 2）、狭山丘陵等（→6. 3）の各プロジェクト並びにプロジェクトの実施ステップ一覧を、以下に示す。

6.1 分野別のプロジェクト



6.2 各駅周辺のプロジェクト



6.3 狭山丘陵等のプロジェクト



6.4 プロジェクトの実施ステップ一覧

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（子育て・暮らし）

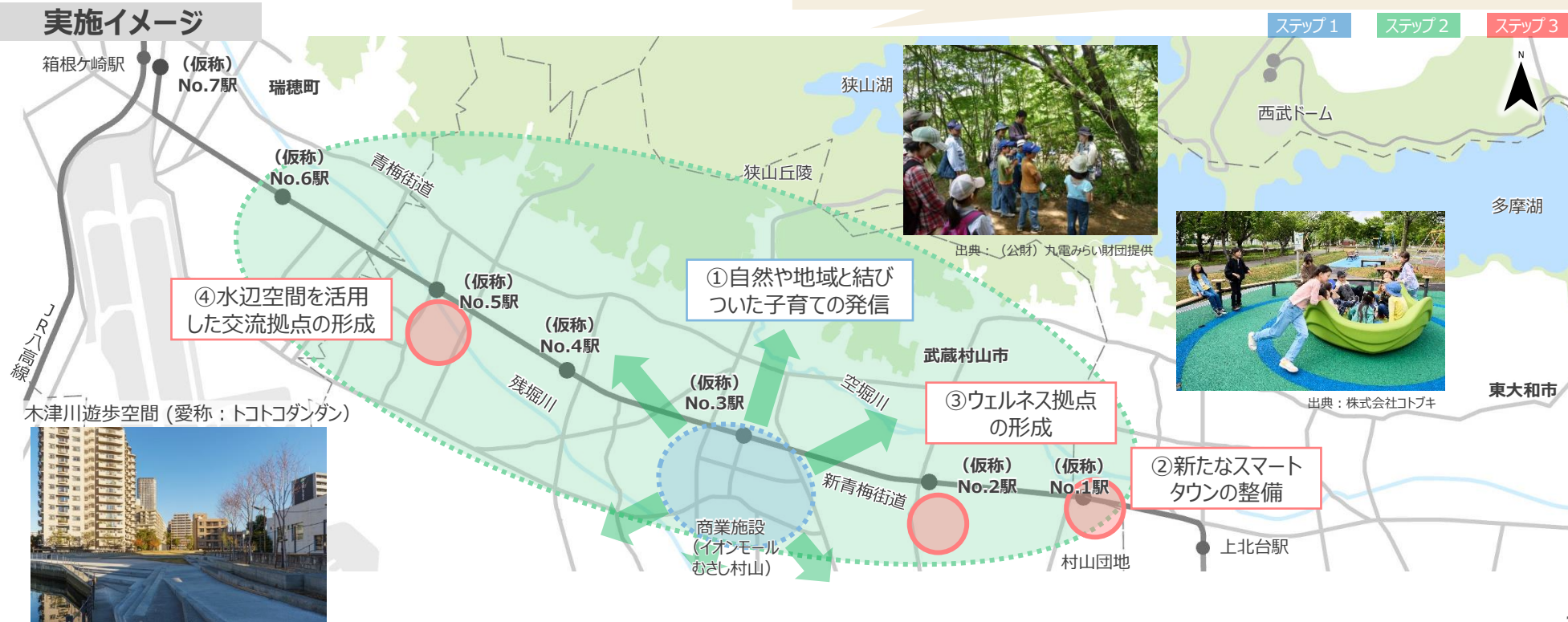
（分野1）子育て・暮らし 『子供に愛され続け、持続的に発展する』

- **特長ある教育が子供を育む**
 - ・先進的な教育や狭山丘陵の緑を活用した教育を誘致
- **多様な働き方が選べる（ライフとワークの両立）**
 - ・ワークスペースを完備するなど、子育てしやすい住宅の整備促進
 - ・子供の遊び場、教育施設、オフィス及び住居の機能を集積

実施ステップ

- ・狭山丘陵での環境学習や沿線の現場でのリアルな仕事体験など、新たな子育ての将来像をイベントで発信
- ・沿線の施設とも連携して、健康やスポーツ等の分野も含め、多様な世代を巻き込んだイベントへと拡大
- ・駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、スマートタウン、ウェルネス拠点、水辺の交流拠点など、暮らしを支える核となる拠点を沿線に創出

実施イメージ



6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（子育て・暮らし）

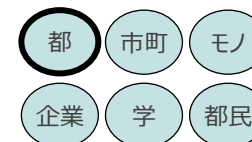
① 自然や地域と結びついた子育ての発信

実施内容

狭山丘陵での環境学習や、沿線の現場でのリアルな仕事体験プログラムを展開

- ・ 狭山丘陵での環境学習や、警察署や消防署、商業施設、農家、工場等と連携したリアルな仕事体験プログラムを展開
- ・ 地域の名産や伝統工芸をつくる体験等も組み合わせ、地域文化への愛着を深める。
- ・ イベント等を通して、子供が育ち未来につながるまちなど、まちの将来像を先行的に発信
- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、先進的な教育や狭山丘陵の緑を活用した教育等を誘致

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

販売員



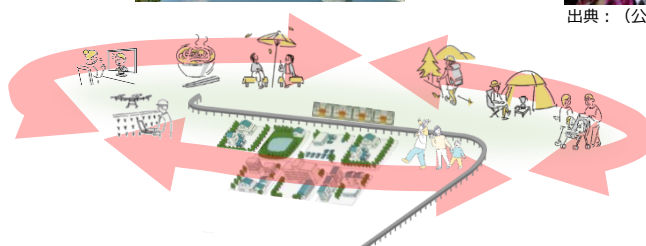
水道



狭山丘陵での環境学習



出典：（公財）九電みらい財団提供



農業



医師



消防士



教師



運転士



警察官



飲食店



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
① 自然や地域と結びついた子育ての発信	イベントとあわせた先行的な実施	沿線の施設等と連携した規模の拡大		

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（子育て・暮らし）

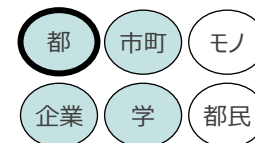
② 新たなスマートタウンの整備

実施内容

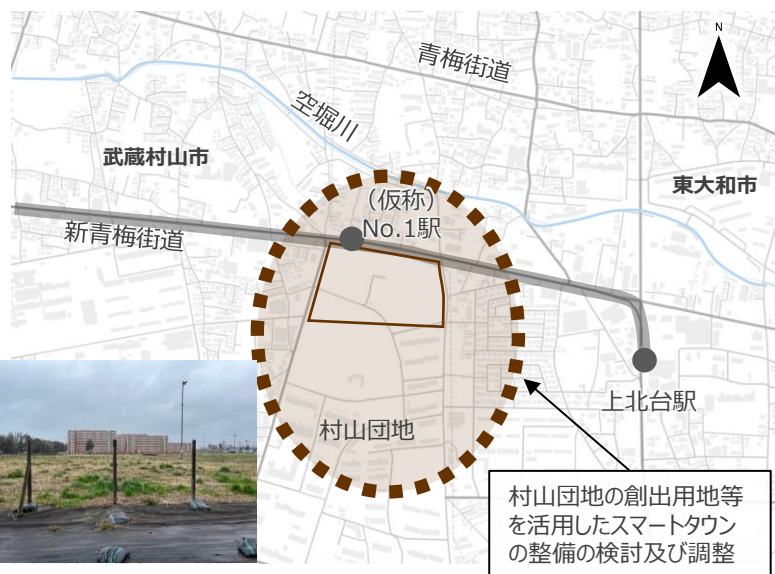
狭山丘陵等の自然の中で、まちの将来を担う子供や若者が育ち、新たなライフスタイルのモデルとなる先進エリアを形成

- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、多摩ならではの緑豊かなスマートタウンを整備
- ・ 子供の遊び場や保育施設、子供の居場所と近接したワークスペース等を整備し、子育て世代を呼び込む。
- ・ 緑豊かでエネルギー効率が低い住宅の整備、高齢者の暮らしを支えるIoTを活用した生活支援サービスの展開
- ・ 豊かな自然や多様な世代との交流拠点の形成、先進的な教育の展開など新たな暮らし方・働き方のモデルを発信

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



村山団地の創出用地等
を活用したスマートタウン
の整備の検討及び調整

自然の中での環境学習



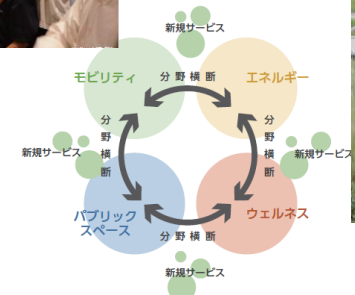
出典：（公財）九電みらい財団提供

子供の居場所と近接したワークスペース



柏の葉スマートシティ

- ・ AIやIoT等を活用し「スマート・コンパクトシティ」の形成を目指すまちづくりを推進
- ・ 住民、学生、働く人、訪れる人など様々な人が交流し、まちづくりを進める仕組みを構築



出典：柏の葉スマートシティ

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
② 新たなスマートタウンの整備	村山団地の創出用地等を活用したスマートタウンの整備の検討及び調整			

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（子育て・暮らし）

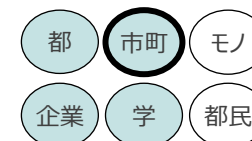
③ ウェルネス拠点の形成

実施内容

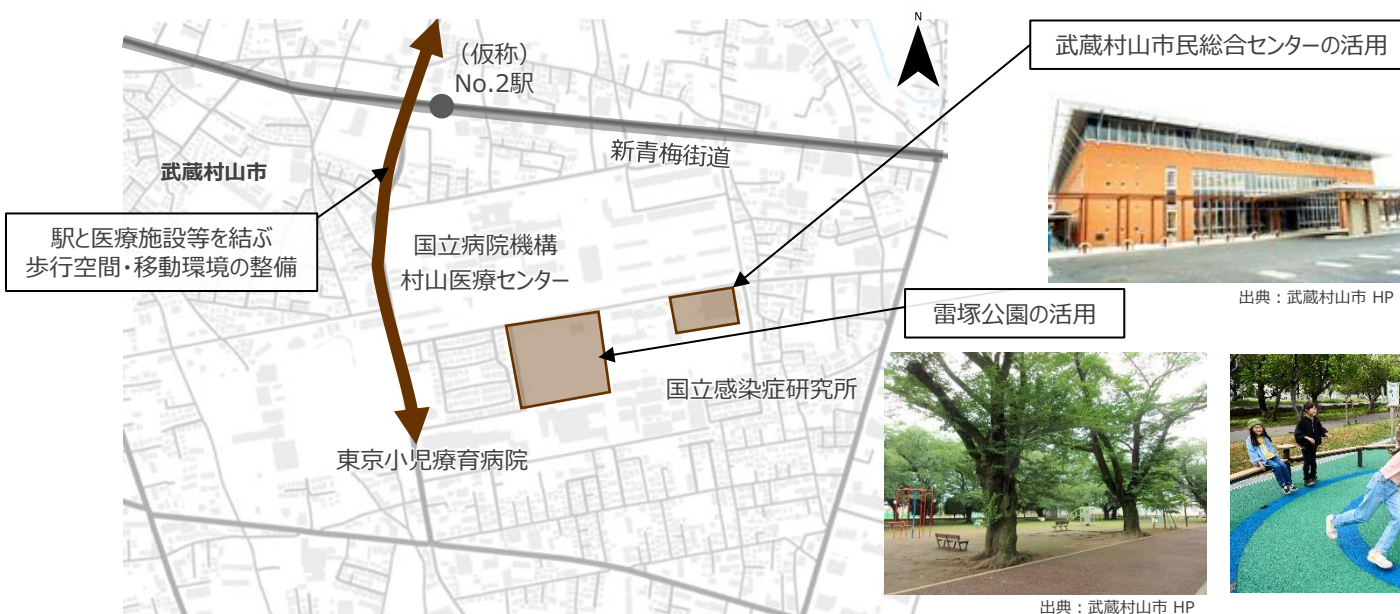
医療・福祉施設及び公共施設の集積をいかし、住民の健康増進を図るウェルネス拠点を形成

- ・ 駅と医療・福祉施設、公園等を結ぶ歩行空間・移動環境を整備
- ・ 武蔵村山市民総合センター、雷塚公園等を活用し、医療機関や大学等と連携した健康教室やスポーツイベント等を開催
- ・ 狭山丘陵の緑や空堀川など水辺空間を巡るウォーキングイベントも展開し、医療と自然が融合したまちづくりを推進

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



武蔵村山市民総合センターの活用



出典：武蔵村山市 HP

雷塚公園の活用



出典：武蔵村山市 HP

ポッチャ体験



インクルーシブ遊具



出典：株式会社コトフキ



実施ステップ

③ ウェルネス拠点の形成

短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
健康教室やスポーツイベント等の開催		歩行空間・移動環境の整備	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（子育て・暮らし）

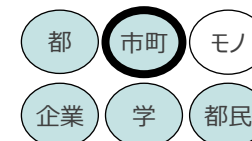
④ 水辺空間を活用した交流拠点の形成

実施内容

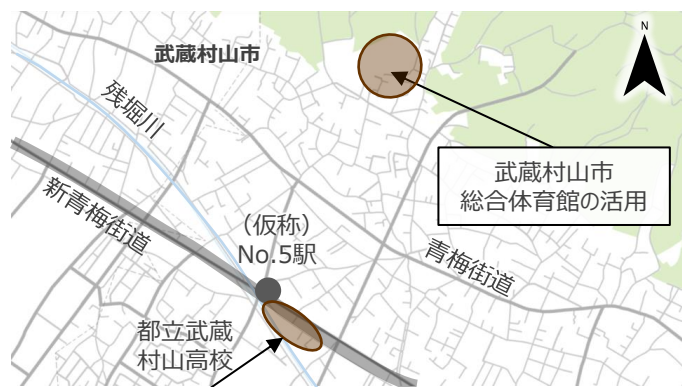
水辺空間等を活用し、多様な世代の地域住民が交流できる拠点を創出

- ・ No.5駅周辺の残堀川親水緑地広場等を人が集まり交流できる空間として活用
- ・ 地元学生等と連携したダンスイベント等を通じて、子供や若者から高齢者まで多世代の交流を促進
- ・ 武蔵村山市総合体育館、沿線の公園・広場等を含めたイベントの拡大により、地域の観光資源としても発信

実施主体



関係する主体を水色、
 主導する主体を太線で示す



残堀川親水
 緑地広場の活用



出典：武蔵村山市 HP

地元学生等と連携したダンスイベント



出典：都立武蔵村山高校提供

沿線を含めたイベントの拡大イメージ



木津川遊歩空間（愛称：トコトコダン）



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
④ 水辺空間を活用した交流拠点の形成	残堀川親水緑地広場を活用したイベント等の実施		沿線の施設や公園・広場等を含めたイベントの拡大	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（観光・交流・文化）

（分野2）観光・交流・文化 『訪れ・滞在する人々が、地域に溶け込む』

● 豊かな緑で人々が交流

- ・豊かな自然をいかした新たな集客施設（アウトドア活性化）を、立地を踏まえて適切に分散配置
- ・自然をいかした遊び場、教育施設（自然学習）及び働く場所（ワーケーション施設等）を誘致
- ・自然を感じ、富士山等の眺望が楽しめるトレッキングコースを整備

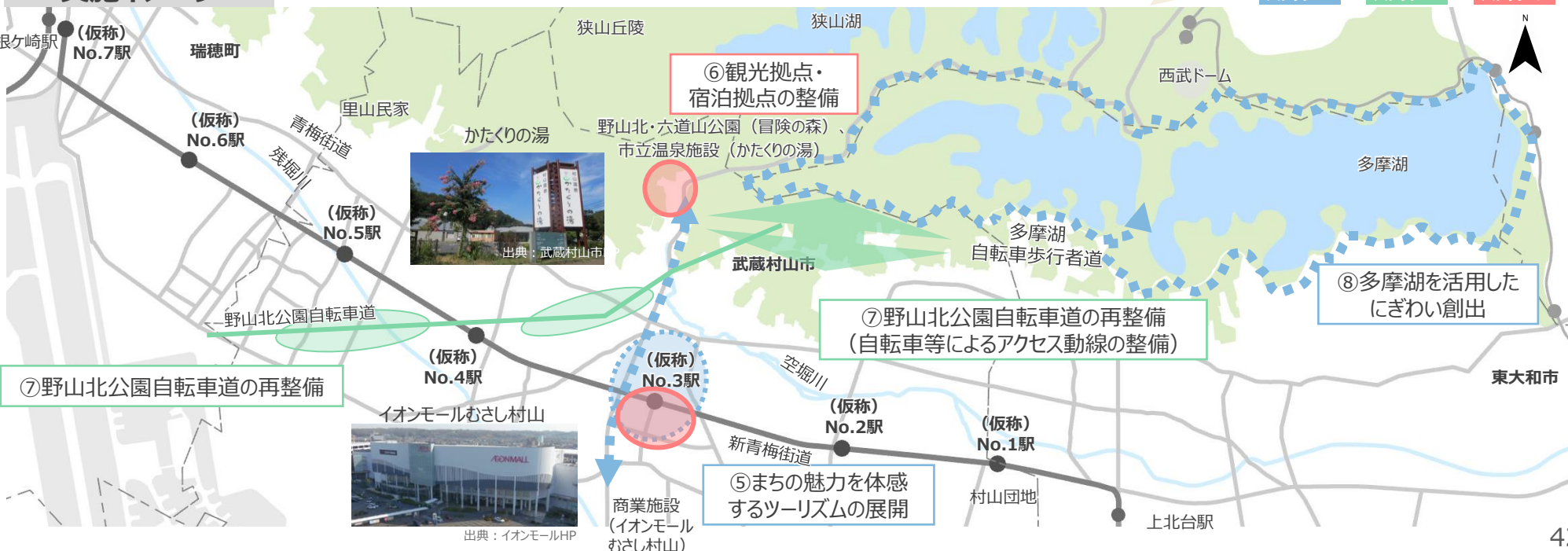
● 地域のポテンシャルをいかして多くの人を惹きつける

- ・里山等をいかしたグリーンツーリズム（宿泊・体験型）
- ・「東京狭山茶」や郷土料理である「村山かてうどん」をいかした体験型の集客（コト消費）を誘致

実施ステップ

- ・沿線の自然、地域の名産、歴史・文化など、まちの魅力を体感するツーリズムを展開
- ・多摩湖自転車歩行者道や野山北公園自転車道の更なる活用も図りながら取組を拡大
- ・沿線の自然環境及び歴史・文化と調和した観光拠点や宿泊拠点を整備

実施イメージ



6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（観光・交流・文化）

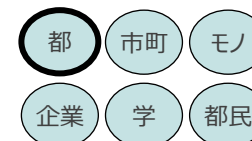
⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開

実施内容

沿線の自然で憩い、地域の名産を味わい、歴史・文化に触れる、五感を刺激するツーリズムを展開

- ・ No.3駅等周辺から狭山丘陵、野山北・六道山公園、市立温泉施設、里山民家等へとつながる観光ルートを設定
- ・ 空き家や移動式ユニットを活用しながら、イオンモールむさし村山と狭山丘陵をつなぐにぎわい軸を核として取組をスタート
- ・ 他の駅周辺の農家や飲食店、史跡等へと観光ルートの拡大を図ることで、観光客を呼び込み、沿線全体を活性化

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開	No.3駅等周辺を中心とするツーリズムの展開		沿線の農地や飲食店、史跡と連携したルートの拡大	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（観光・交流・文化）

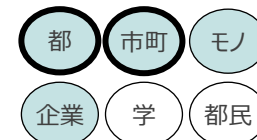
⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備

実施内容

ツーリズムの展開に加え、周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した観光拠点や宿泊拠点の整備

- ・ 公有地や民有地を活用し、狭山丘陵等の自然、地域の歴史・文化及び食をいかしたツーリズムの拠点を形成
- ・ 移動式ユニットの活用、空き家や古民家のリノベーション等により、暫定的な施設からスタートし、滞在先としてのブランド化
- ・ グランピング施設やZ E H※仕様のホテルなど、周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した宿泊施設を誘致

実施主体



関係する主体を水色、主導する主体を太線で示す

フレア五日市
(武蔵五日市駅前拠点施設)
市民や観光客等が交流できる
広場やサイクルスタンド等を設置



出典：あきる野市HP

地域に溶け込むホテル
周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した
宿泊施設を整備



出典：MUJI HOUSE HP

グランピング



出典：snow peak HP

移動式ユニット

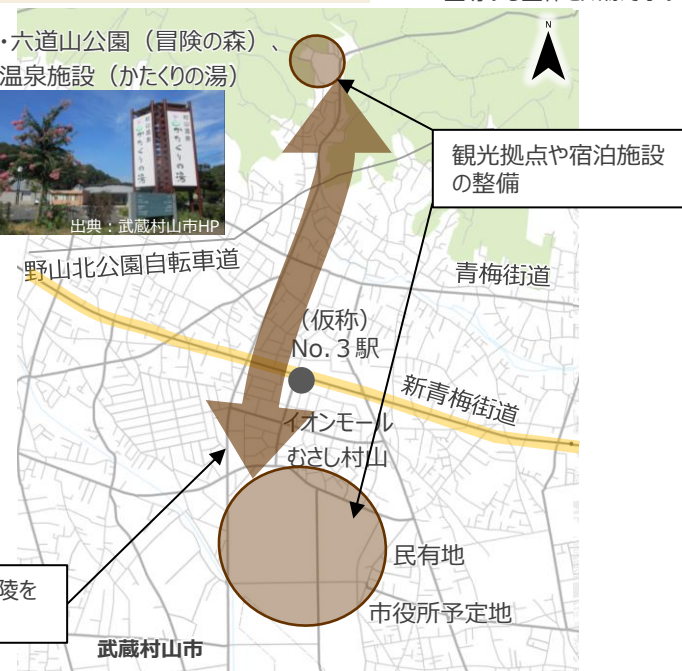


出典：MUJI HOUSE HP

野山北・六道山公園（冒険の森）、
市立温泉施設（かたくりの湯）



出典：武蔵村山市HP



観光拠点や宿泊施設の
整備

商業施設と駅と狭山丘陵を
つなぐにぎわい軸を形成

※外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムを導入し、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備		移動式ユニット等を活用した宿泊体験イベントの開催		観光拠点・宿泊拠点等の整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（観光・交流・文化）

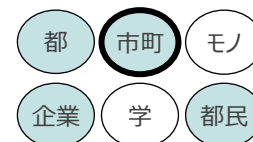
⑦ 野山北公園自転車道の再整備

実施内容

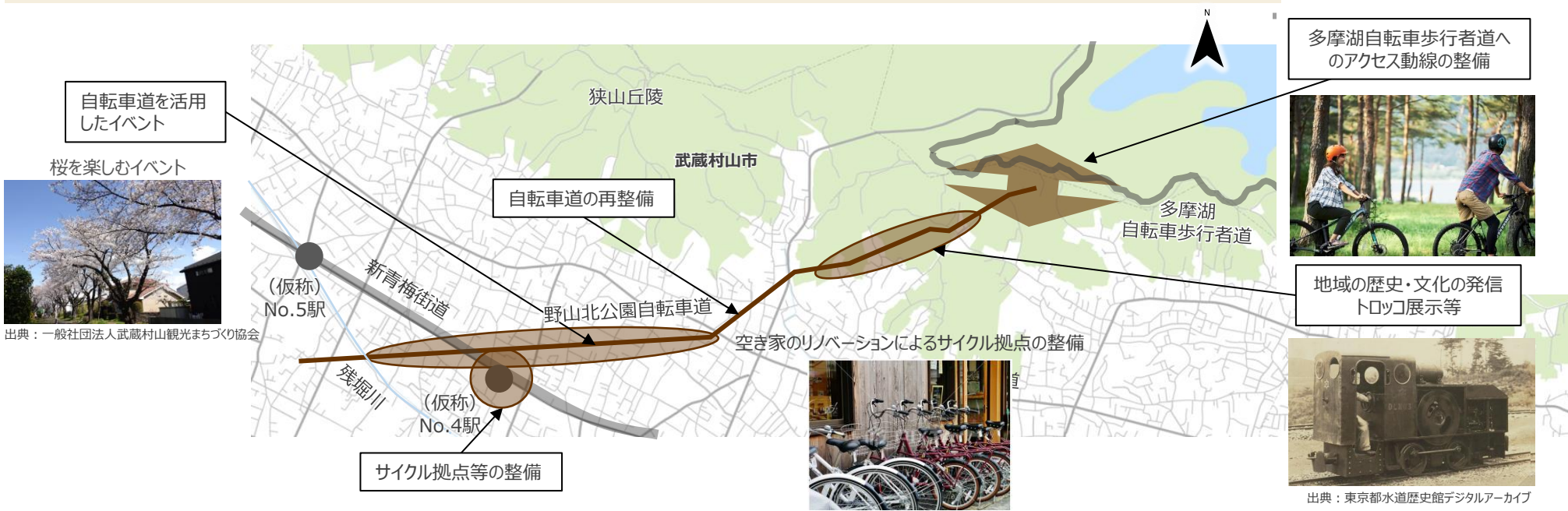
地域を貫く野山北公園自転車道をいかし、スポーツやレクリエーションの軸・拠点を形成

- ・ 自転車道を活用したイベント（「桜マルシェ」等）及び軽便鉄道跡地等の地域の歴史・文化を発信
- ・ 駅周辺にサイクル拠点等を整備
- ・ 自転車道の再整備及び多摩湖自転車歩行者道へのアクセス動線の整備（事業手法の検討）

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



出典：一般社団法人武蔵村山観光まちづくり協会

出典：東京都水道歴史館デジタルアーカイブ

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑦ 野山北公園自転車道の再整備	自転車道を活用したイベント等の開催 (サイクリング、マルシェ、軽便鉄道ウォーキング等)		サイクル拠点等の整備、自転車道の再整備	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（観光・交流・文化）

⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出

実施内容

東京が誇る湖である多摩湖を活用したイベントの開催やにぎわい施設等の整備

- ・ 多摩湖畔で花見、フェス、紅葉ライトアップ、多摩湖駅伝大会など四季折々のイベントを展開
- ・ 多摩湖自転車歩行者道を誰もが親しみやすいサイクリング・ウォーキングコースとして活用・P R
- ・ まちから多摩湖自転車歩行者道へのアクセス空間で、沿道の空き家等をリノベーションしたカフェ等のにぎわい施設を整備
- ・ 多摩湖周辺の歴史文化などの地域資源と触れ合いながら、にぎわいを生み出す拠点を整備
- ・ 東大和市立狭山緑地（フィールドアスレチック等）を改修、観光案内所や展望カフェ、サイクル拠点等を整備

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

多摩湖の眺望



整備イメージ



出典：西和賀商工会 HP



実施ステップ

⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出

短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
	湖畔での四季折々のイベントの開催	展望カフェ・サイクル拠点等の整備	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（産業）

（分野3）産業 『特徴ある地域産業でイノベーションや活力を起こす』

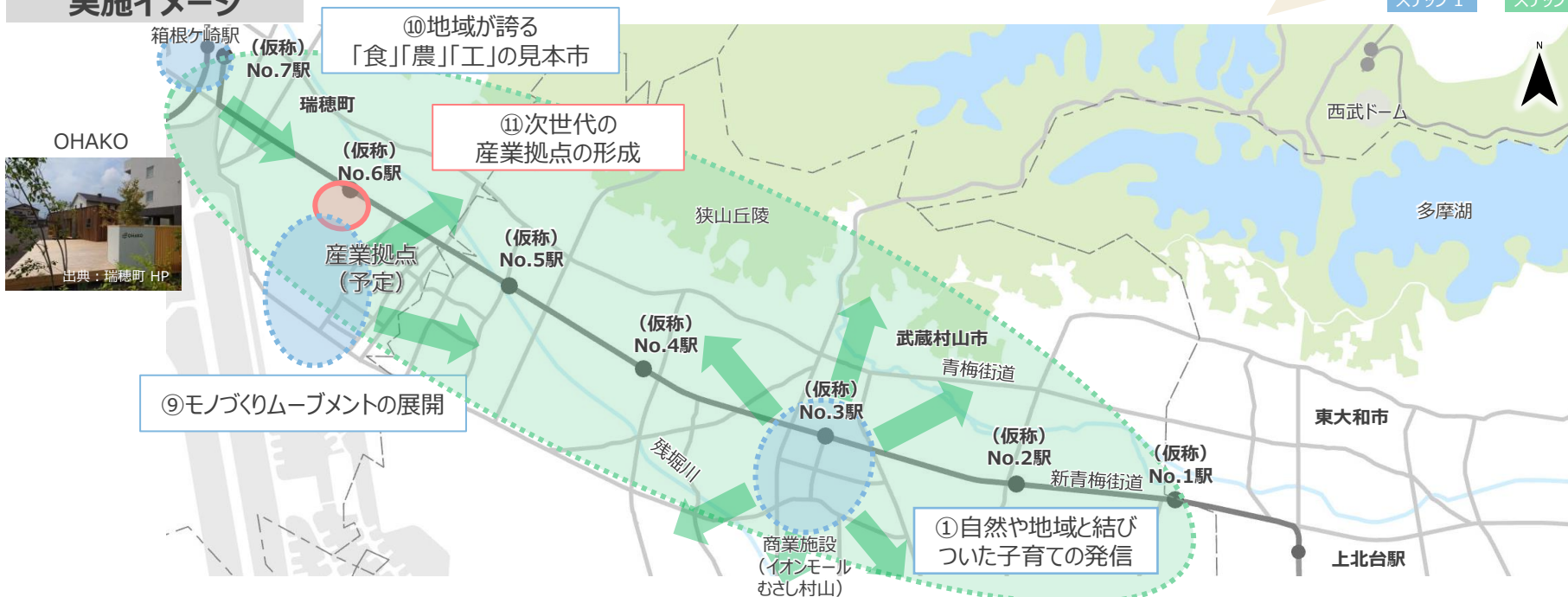
- **DXや人的資源**で地域の活力を向上
 - ・スマート農業などリーディング産業の育成に向けた機能を導入
 - ・社会実験などの場を提供する「ラボ」などの支援施設を誘導
- **持続可能な地域経営**の促進
 - ・地元企業と連携したまちづくり（クラフトツーリズム、教育機関との連携等）
 - ・大手企業やベンチャー企業、アウトドア系企業、グリーン関連企業（ネイチャーポジティブに関する事業）など地域特性をいかせる新たな企業の誘致を図り、産業機能を集積

実施ステップ

- ・見本市や農業体験、工場見学会など、企業と連携したモノづくりムーブメントを展開
- ・沿線の現場での仕事体験のイベントとも連携を図りながら取組を拡大
- ・地元企業に加え、スマート農業、新たな創業・研究等を支える産業拠点を形成

ステップ1 ステップ2 ステップ3

実施イメージ



6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（産業）

⑨ モノづくりムーブメントの展開

実施内容

沿線の農地での農業体験、特長ある工場の見学会、ワークショップ等により、モノづくりを楽しむ機運を醸成

- 沿線の農家や農協、商業施設と連携し、お茶摘みやみかん狩りの体験、地産食材をいかした料理教室を実施
- 農地周辺に宿泊施設を設け、収穫した農作物を出荷・販売できる仕組みを構築し、リアルな農業体験を提供
- 工場の見学会や、多摩産材をつかった家具づくりのワークショップを開催

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



農泊

農地に宿泊施設を併設し、農作物の収穫・出荷を通したリアルな農業体験を提供



出典：農林水産省 HP

工場見学会

モノづくりの工程（開発・生産・整備）を見学



ワークショップ

多摩産材をつかった家具づくり



実施ステップ

⑨ モノづくりムーブメントの展開

短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
	No.6駅周辺での 工場見学会・ワークショップの開催	農地への宿泊施設の併設・農泊の推進	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（産業）

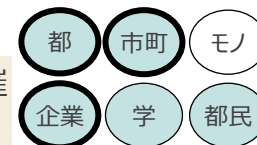
⑩ 地域が誇る「食」「農」「工」の見本市

実施内容

駅周辺の広場やにぎわい拠点を活用し、地域が誇る「食」「農」「工」の見本市を開催

- ・ JR箱根ヶ崎駅の西側の将来の土地利用を見据え、広場、にぎわい拠点等を暫定活用し、名産品や伝統工芸品の見本市を開催
- ・ 垂直水耕栽培、航空エンジン等の「食」「農」「工」に関連する先進技術等の見本市を開催
- ・ No.6駅周辺での次世代の産業拠点やNo.7駅のデッキ広場の整備を見据えた見本市の規模拡大の検討
- ・ メタネーション※やバイオメタン※※など最先端のエネルギー技術の展示、多摩産材をつかったベンチの設置など魅力発信

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

地域が誇る名産品



東京狭山茶
出典：瑞穂町 HP

村山かてうどん
出典：武蔵村山市提供

地域の伝統工芸品



東京だるま
出典：瑞穂町 HP

村山大島紬
出典：武蔵村山市 HP

先進技術や多摩産材の発信



「農」の新技术
垂直水耕栽培

TOKYO MOKUNAVI
出典：TOKYO MOKUNAVI HP

※原料となる水素とCO2
を化学反応させ、都市ガス
の主成分であるメタンを合
成する技術

※※食物残渣など有機物を
原材料とするメタンガス。
本来であれば大気に放出
されるメタンを回収している
ため、利用時はCO2排出
ゼロとみなすことができる

駅西側の広場やにぎわい拠点
での見本市の開催



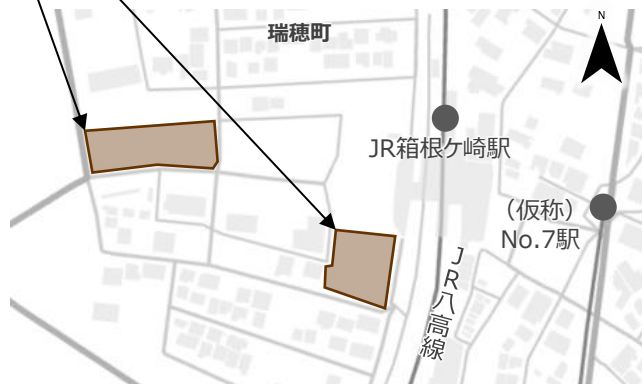
見本市のイメージ

出典：瑞穂町 HP



駅西側の「にぎわい」拠点

出典：瑞穂町 HP



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑩ 地域が誇る「食」「農」「工」の見本市	JR箱根ヶ崎駅西側の広場やにぎわい拠点での見本市の開催			見本市の規模の拡大の検討

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（産業）

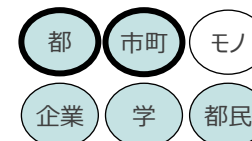
⑪ 次世代の産業拠点の形成

実施内容

沿線の農地や工場とも連携し環境にもやさしい次世代型の産業拠点を形成

- ・「インキュベーション・交流拠点・ワークプレイス」、「研究開発拠点」及び「スマート農業実装拠点」を設け、ビジネス経営支援事業やスマート農業推進事業の展開を目指す。
- ・企業、自治体等による定期的な対話の場を構築
- ・拠点形成にあわせた再生可能エネルギーの導入促進（沿線の商業施設や工場の屋上・壁面等）

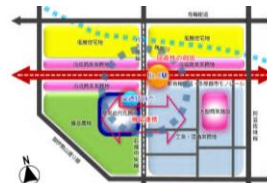
実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



沿線の農地や工場と連携した
産業近代化拠点を整備



(出典) 多摩都市モルール延伸を契機とした
瑞穂町まちづくり基本計画 (瑞穂町)

企業、自治体等による定期的な対話



出典：TAMA-SIL HP

商業施設や工場の
屋上や壁面での太陽光発電



出典：イオンモールまちの発電所

営農型発電（検討）
農地の上部空間での太陽光発電



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑪ 次世代の産業拠点の形成	事業スキームの検討、都市計画等手続		用地取得、工事着手	産業拠点の形成

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（産業）

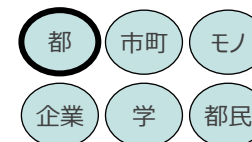
① 自然や地域と結びついた子育ての発信 ※再掲

実施内容

狭山丘陵での環境学習や、沿線の現場でのリアルな仕事体験プログラムを展開

- ・ 狭山丘陵での環境学習や、警察署や消防署、商業施設、農家、工場等と連携したリアルな仕事体験プログラムを展開
- ・ 地域の名産や伝統工芸をつくる体験等も組み合わせ、地域文化への愛着を深める。
- ・ イベント等を通して、子供が育ち未来につながるまちなど、まちの将来像を先行的に発信
- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、先進的な教育や狭山丘陵の緑を活用した教育等を誘致

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

販売員



水道



狭山丘陵での環境学習



出典：（公財）九電みらい財団提供



運転士



教師



警察官



飲食店



農業



医師



消防士



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
① 自然や地域と結びついた子育ての発信	イベントとあわせた先行的な実施	沿線の施設等と連携した規模拡大		

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（エネルギー・環境）

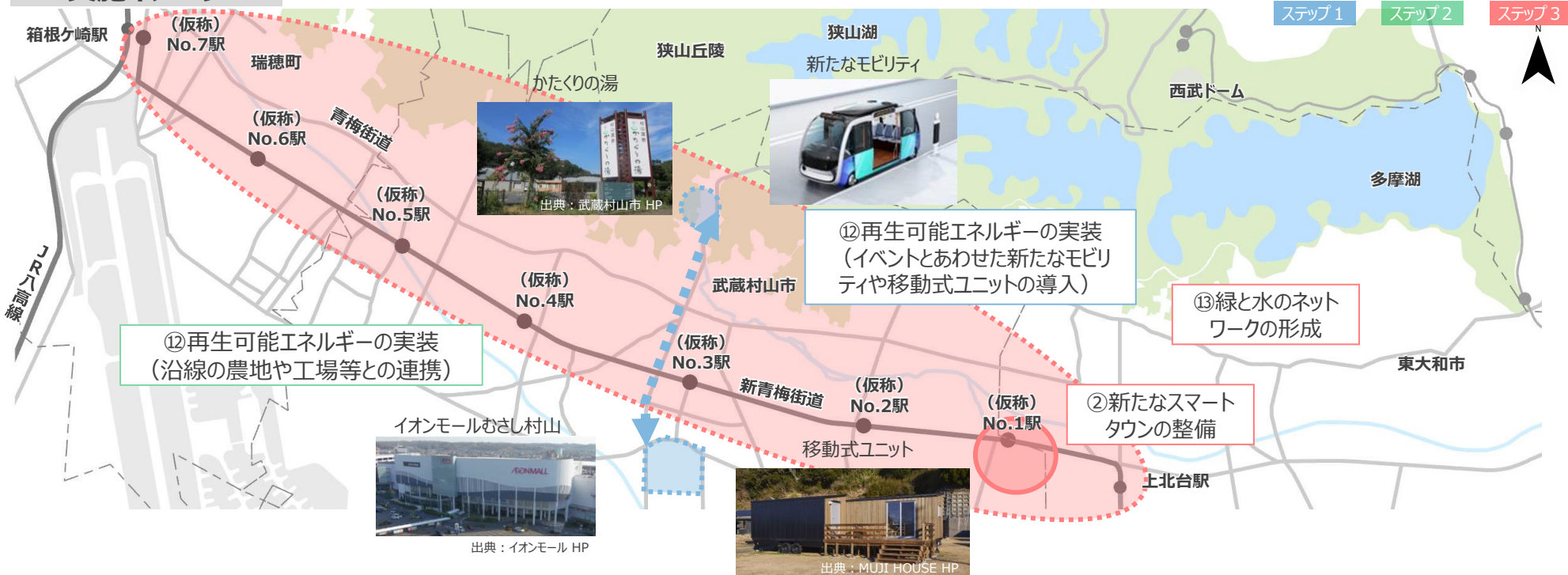
（分野4）エネルギー・環境 『再生可能エネルギー等を活用したゼロエミッションを実現する』

- 地域でエネルギーが融通され環境にやさしく暮らす
 - ・インフラ（モノレール等）を活用した発電を検討
 - ・再生可能エネルギー設備などの導入を促進
 - ・エネルギーマネジメントなど、多角的な気候変動対策を推進

実施ステップ

- ・イベントとあわせた新たなモビリティや移動式ユニットの試験的導入、多摩都市モノレールの既存施設での次世代型太陽光発電の実証実験
- ・沿線の農地や工場と連携した、再生可能エネルギーの導入促進
- ・緑豊かでエネルギーマネジメントが導入されたスマートタウンの整備、公園・広場の整備による緑と水のネットワークの充実・強化

実施イメージ



6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（エネルギー・環境）

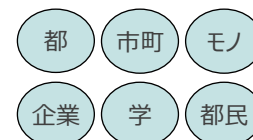
⑫ 再生可能エネルギーの実装

実施内容

行政、民間、地域の住民など様々な主体の取組によりゼロエミッションの実現

- ・ イベントとあわせた新たなモビリティの運行（周辺施設での太陽光発電で運行するバス等）
- ・ 次世代型ソーラーパネルの開発状況を踏まえつつ、既存の公共施設や多摩都市モノレール（駅利用）への導入を検討
- ・ 沿線の商業施設や工場の屋上や壁面及び農地の上部空間への太陽光発電の導入促進
- ・ 既存住宅や新たに整備される住宅への太陽光発電設備等の設置支援
- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、再生可能エネルギーやエネルギーマネジメント等を導入したスマートタウンの整備

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

イベントとあわせた新たなモビリティの運行



商業施設や工場の
屋上や壁面での太陽光発電



出典：イオンモールまちの発電所

営農型発電（検討）
農地の上部空間での太陽光発電



面的なエネルギーマネジメントの導入



住宅への太陽光発電設備の設置促進



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑫ 再生可能エネルギーの実装	多摩都市モノレール（駅利用）への導入を検討、イベントとあわせた新たなモビリティの運行			スマートタウンの整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（エネルギー・環境）

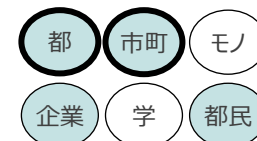
⑬ 緑と水のネットワークの形成

実施内容

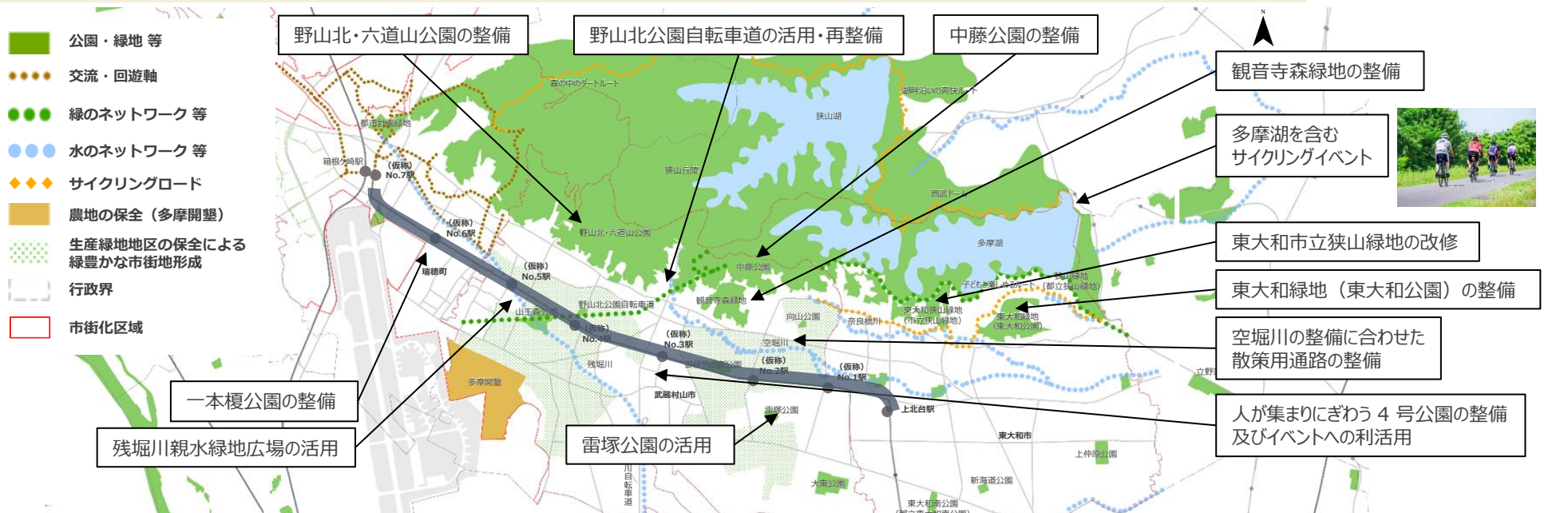
狭山丘陵、多摩湖、野山北・六道山公園、残堀川等を結び付け、緑と水のネットワークを形成

- ・「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づき公園の整備を推進
- ・多摩湖自転車歩行者道の活用や野山北公園自転車の再整備により、生態系保全及び健康増進を両立
- ・各駅周辺での緑の広場や水辺空間の活用により、日常的に自然を享受できる環境を実現
- ・多摩湖周辺の緑豊かな環境の利活用（狭山緑地でのパークマルシェ、多摩湖を含むサイクリングイベント等）

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



実施ステップ

⑬ 緑と水のネットワークの形成

短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
野山北公園自転車道、多摩湖周辺の公園・緑地等の活用		都市計画公園・緑地の整備方針に基づく事業の推進	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（エネルギー・環境）

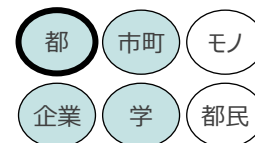
② 新たなスマートタウンの整備 ※再掲

実施内容

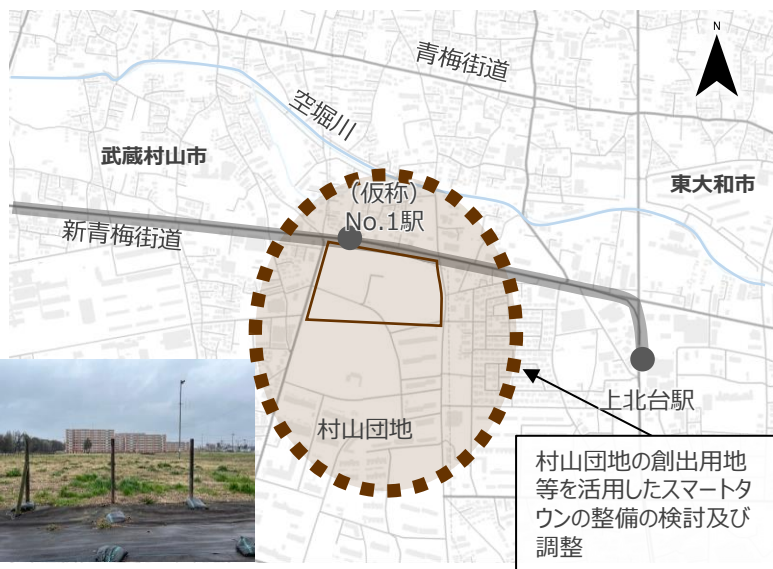
狭山丘陵等の自然の中で、まちの将来を担う子供や若者が育ち、新たなライフスタイルのモデルとなる先進エリアを形成

- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、多摩ならではの緑豊かなスマートタウンを整備
- ・ 子供の遊び場や保育施設、子供の居場所と近接したワークスペース等を整備し、子育て世代を呼び込む。
- ・ 緑豊かでエネルギー効率が低い住宅の整備、高齢者の暮らしを支えるIoTを活用した生活支援サービスの展開
- ・ 豊かな自然や多様な世代との交流拠点の形成、先進的な教育の展開など新たな暮らし方・働き方のモデルを発信

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



村山団地の創出用地等を活用したスマートタウンの整備の検討及び調整

自然の中での環境学習



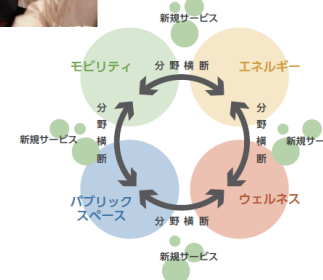
出典：（公財）九電みらい財団提供

子供の居場所と近接したワークスペース



柏の葉スマートシティ

- ・ AIやIoT等を活用し「スマート・コンパクトシティ」の形成を目指すまちづくりを推進
- ・ 住民、学生、働く人、訪れる人など様々な人が交流し、まちづくりを進める仕組みを構築



出典：柏の葉スマートシティ

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
② 新たなスマートタウンの整備	村山団地の創出用地等を活用したスマートタウンの整備の検討及び調整			

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（インフラ）

⑭ 道路ネットワークの充実・強化

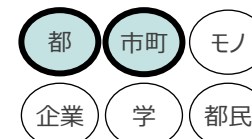
実施内容

モルール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化

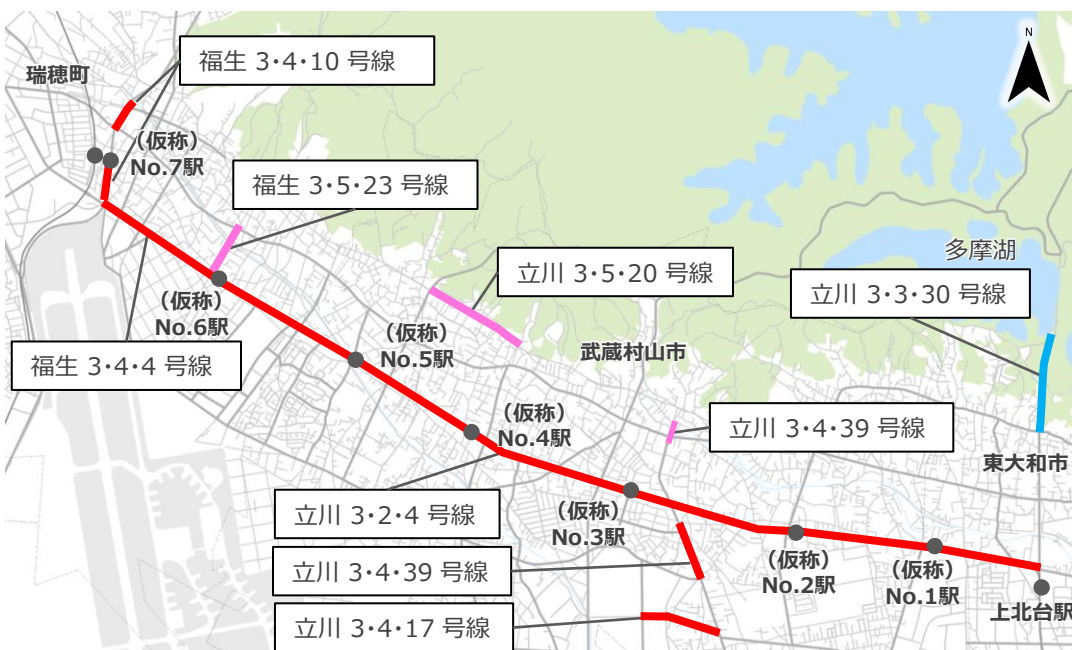
- ・ 事業中の路線や優先整備路線※の整備を推進

※計画期間（令和8年度から令和22年度まで）で優先的に整備すべき路線。優先的に事業に着手する路線。

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



資料：東京における都市計画道路の整備方針（第五次事業化計画）を基に作成

路線名	区間	所在市町	延長 (m)	
事業中（都）	立川3・2・4号線	立川 3・3・30 号線 ～瑞穂町境	東大和, 武蔵村山	5,065
事業中（都）	福生3・4・4号線	武蔵村山市境 ～瑞穂町大字武蔵	瑞穂	1,430
事業中（都）	福生3・4・4号線及び 福生3・4・10号線	瑞穂町大字武蔵 ～同町大字箱根ヶ崎字狭山	瑞穂	555
事業中（都）	福生3・4・10号線	瑞穂町大字箱根ヶ崎	瑞穂	150
事業中（市）	立川 3・4・17号線	大南一丁目～ 榎一丁目	武蔵村山	442
事業中（市）	立川 3・4・39号線	学園一丁目25番 ～榎三丁目22番	武蔵村山	367
優先整備路線（都）	立川 3・3・30 号線	青梅街道 ～都市計画区間	東大和	690
優先整備路線（市）	立川 3・5・20 号線	立川 3・4・40 ～立川 3・5・41	武蔵村山	670
優先整備路線（市）	立川 3・4・39 号線	立川第2号空堀川 ～主地5	武蔵村山	50
優先整備路線（町）	福生 3・5・23 号線	主地 5～福生 3・4・4	瑞穂	320

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	事業中の路線や東京における都市計画道路の整備方針に基づく優先整備路線の整備			

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（インフラ）

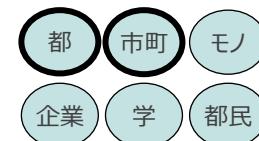
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備

実施内容

駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化

- 交通結節機能や新たなモビリティ、人のアクティビティ、まちとの関わりを踏まえた駅のつかい方、駅前広場のあり方の検討
- No.3駅で、人々が集まり、地域の顔となる駅前広場を整備、集客施設や南北方向を結ぶ歩行者空間を確保
- No.7駅で、連絡通路やデッキの整備による機能的かつ人にもやさしい駅前広場を整備、周辺の空間を活用し見本市を開催
- 延伸後のバス路線の再編等を進め、駅からの交通手段となるフィーダー交通（自動運転、シェアモビリティ等）を検討・導入

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

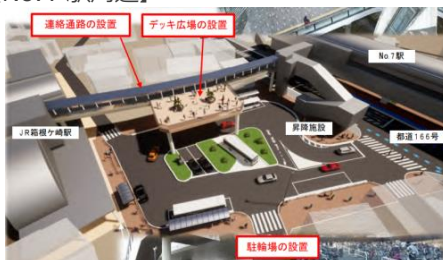
【No.3 駅周辺】



出典：多摩都市モレール延伸（上北台～箱根ヶ崎）に係る関係市町のまちづくりについて（東大和市・武蔵村山市・瑞穂町）



【No.7 駅周辺】



出典：多摩都市モレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画（瑞穂町）

駅から沿線へのアクセスを向上する自動運転、シェアモビリティ等を確保
駅周辺の空間を活用し、「農」「食」「工」の見本市の開催



東京狭山茶
出典：瑞穂町 HP



村山かてうどん
出典：武蔵村山市提供

【バス路線の再編】



再編案①(ループ案)

再編案②(串案)



出典：モレール沿線まちづくり構想（東大和市・武蔵村山市・瑞穂町）

延伸後のバス路線の再編等も見据えた駅からの交通手段の検討
商業施設と駅と狭山丘陵を結ぶ新たなモビリティの運行



出典：武蔵村山市 HP

出典：イオンモール HP

実施ステップ

	短期 R8年度	R9~10年度	中期 R10~13年度	長期 R13~16年度
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	駅前広場等の検討、 シェアモビリティの検討、 新たなモビリティの試験的導入 自動運転実装（レベル2）	駅前広場等の設計、 案内誘導等の検討、 シェアサイクルの拡大、 自動運転実装（レベル2）	駅前広場等の設計、 案内誘導等の検討、 自動運転実装（レベル4）	フィーダー交通の検討・導入 駅前広場、案内誘導等の整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（インフラ）

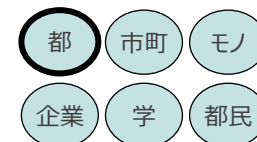
⑩ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出（駅舎デザイン）

実施内容

子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討

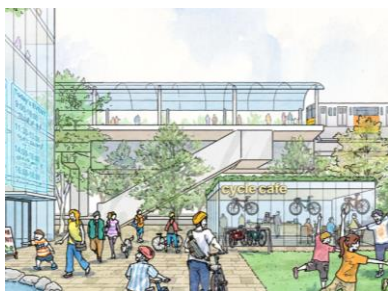
- ・ 都民からの意見等を踏まえ、取りまとめた駅のコンセプトに基づき、駅舎デザインを検討（No.3駅及びNo.6駅はコンペを実施）
- ・ まちとの調和や環境への配慮、維持管理性等も踏まえ検討
- ・ 延伸部のまちを象徴する特徴ある駅舎とするとともに、多摩都市モノレールのブランディングにつなげる。

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

まちの象徴となる駅舎デザイン（イメージ）



	まちづくりの方向性	駅のコンセプト
延伸部全体	新しい暮らし方・働き方のモデルとなり、多様な都市機能が人を呼び込み、緑の恵みを最大限にいかしたまち	沿線でつながる空と狭山丘陵の緑の広がりや、地域の良さが人の五感に響く
No.1駅	先進的な子育てで主体的に子供が成長できるまち	新しいまちの玄関口として、明るく子供たちがワクワクする
No.2駅	医療を中心としたメディカルタウン	「やさしさ」と「やすらぎ」に包まれ、病院や市民センターなどを訪れる人の気分が向上する
No.3駅	機能が集積されたコアシティ	様々な施設が集まる沿線の核としての風格を備え、賑わいや楽しさを感じる
No.4駅	スポーツアクティビティが人を呼び込むまち	自転車道の桜並木と調和し、自然のかけめぐりを感じる
No.5駅	多世代が交流する活力あふれるまち	生き生きと心や体がゆれ躍り、川の音や流れを感じる
No.6駅	先進農業などイノベーションを創出するまち	狭山丘陵の風景と調和しながら、未来を感じさせる
No.7駅	モノレールとJRで結ばれる西側の玄関口	宿場町の歴史が感じられ、人々の往来や交流で賑わう「はじまり」を予感させる

実施ステップ

	短期 R8年度	R9~10年度	中期 R10~13年度	長期 R13~16年度
⑩ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出		駅舎のデザイン・設計	整備	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（インフラ）

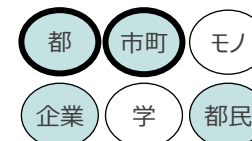
⑬ 緑と水のネットワークの形成 ※再掲

実施内容

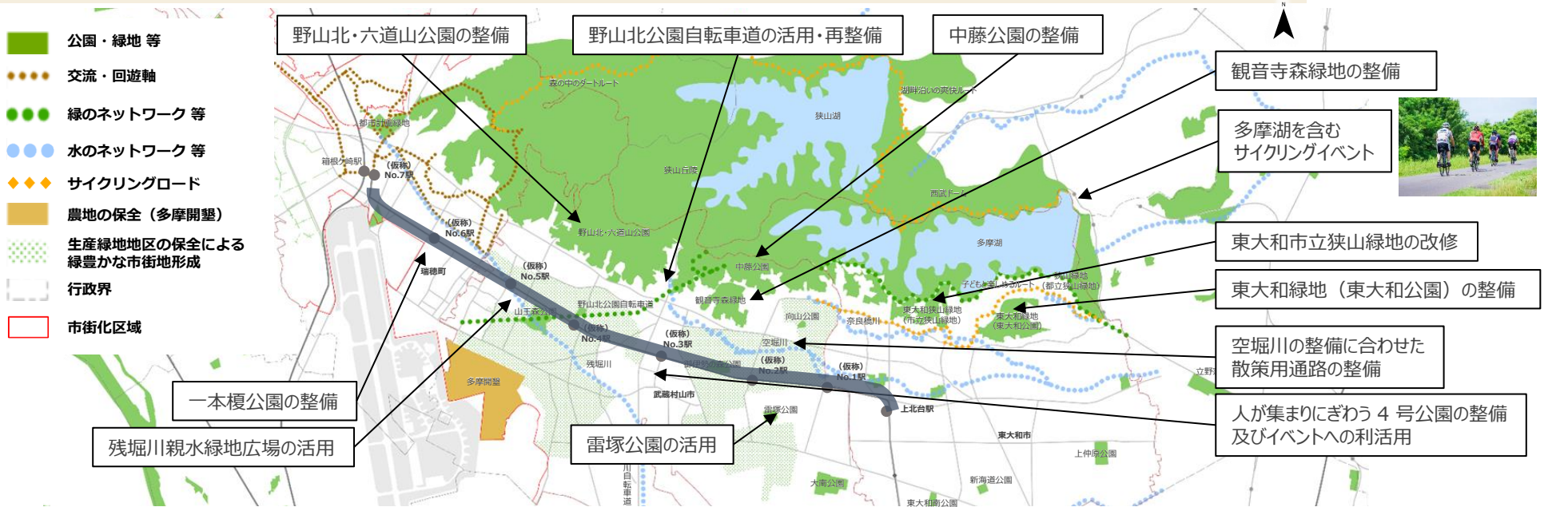
狭山丘陵、多摩湖、野山北・六道山公園、残堀川等を結び付け、緑と水のネットワークを形成

- ・「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づき公園の整備を推進
- ・多摩湖自転車歩行者道の活用や野山北公園自転車の再整備により、生態系保全及び健康増進を両立
- ・各駅周辺での緑の広場や水辺空間の活用により、日常的に自然を享受できる環境を実現
- ・多摩湖周辺の緑豊かな環境の利活用（狭山緑地でのパークマルシェ、多摩湖を含むサイクリングイベント等）

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑬ 緑と水のネットワークの形成	野山北公園自転車道、多摩湖周辺の公園・緑地等の活用		都市計画公園・緑地の整備方針に基づく事業の推進	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（土地利用・景観）

（分野6）土地利用・景観 『主要な駅周辺や身近な中心地に様々な都市機能を集積し、歩いて暮らす』
『まちの風景や狭山丘陵の眺望が人々を魅了し、引き付ける』

- 各駅の特徴を誘導する土地利用を促進
 - ・主要な駅（No.3及びNo.6駅）周辺に必要な都市機能を適切に集積
 - ・駅周辺や身近な中心地の徒歩圏に住宅市街地を誘導
 - ・各駅の特徴を実現する機能を誘導
- 駅も含めて、まちの景観をトータルデザイン
 - ・建物の形態やデザインに規則性を設けるなど、訪れたいまちの景観を誘導
- 近景、遠景を意識したスカイラインを形成
 - ・モルレルや狭山丘陵をいかした眺望の確保のため、景観を阻害しない土地利用を誘導

実施ステップ

- ・歩いて暮らせるまちづくり、地域を象徴するまちなみ・風景の創出など、まちのトータルデザインの方向性を発信
- ・土地区画整理事業の推進及び駅を中心とするウォークアブルな空間の創出
- ・立地適正化計画に基づき、駅周辺に都市機能を誘導、建物形態・デザイン等の規制誘導手法の検討

実施イメージ



6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（土地利用・景観）

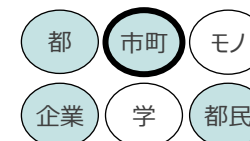
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり

実施内容

駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子ども移動しやすい空間を整備

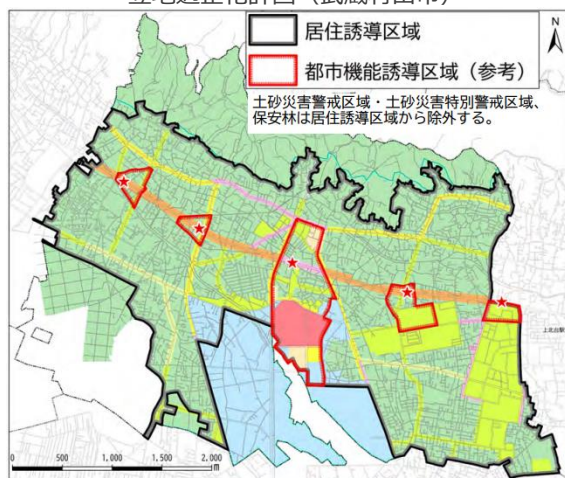
- ・ 立地適正化計画に基づく都市計画（用途地域等）の見直しにより、都市機能誘導区域への施設の誘導
- ・ 市民・事業者を中心とするまちづくり協議会を立ち上げ、市民・事業者との協働によるまちづくりを推進
- ・ 駅を中心とした、バリアフリー化の推進、歩き回りたくなる・訪れたいくなるウォーカブルな空間の創出
- ・ 村山団地創出用地等を活用し、新たな暮らし方・働き方のモデルとなる、緑豊かなスマートタウンを整備
- ・ 都市核地区土地区画整理事業(No.3駅) 及び殿ヶ谷土地区画整理事業(No.6駅) による良好な市街地環境の形成

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

立地適正化計画（武蔵村山市）

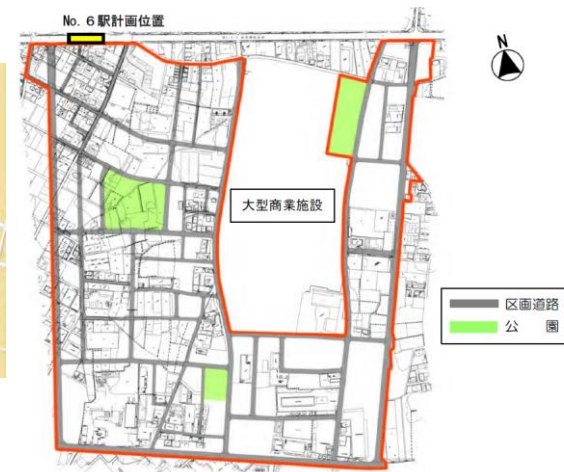


出典：武蔵村山市立地適正化計画（武蔵村山市）

殿ヶ谷土地区画整理事業（瑞穂町）



出典：多摩都市モニール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画（瑞穂町）



実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり		駅周辺まちづくり協議会での検討（No.1～5駅）	都市計画の見直しの検討、都市計画変更、立地適正化計画等に基づく施設の誘導	土地区画整理事業の推進（No.3駅及びNo.6駅）、ウォーカブルな空間の形成

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト（土地利用・景観）

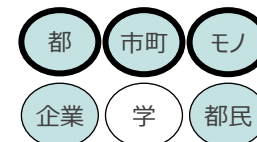
⑬ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出（まちのトータルデザイン）

実施内容

個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン

- ・ 狭山丘陵と一体となったまち、変化のあるまち、人のアクティビティが感じられるまちなど、ここにしかないまちなみ・風景を創出
- ・ 土地利用や建物形態の規制誘導手法の検討（歩いて暮らせるまちや特徴あるまちなみ・風景に加え、グリーンインフラ（緑や土を増やす等）など新たな視点も含めて検討）
- ・ 多摩モレール写真コンクールを開催し、開業に先駆け、延伸部のまちの風景を発信

実施主体



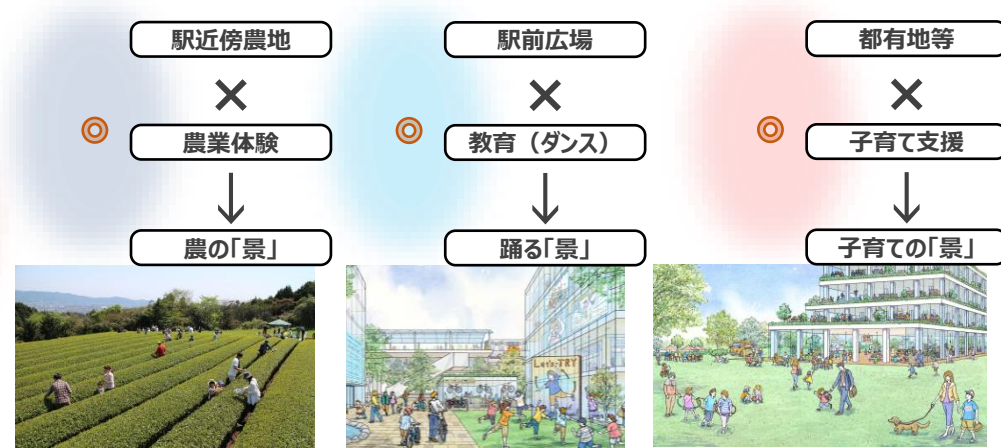
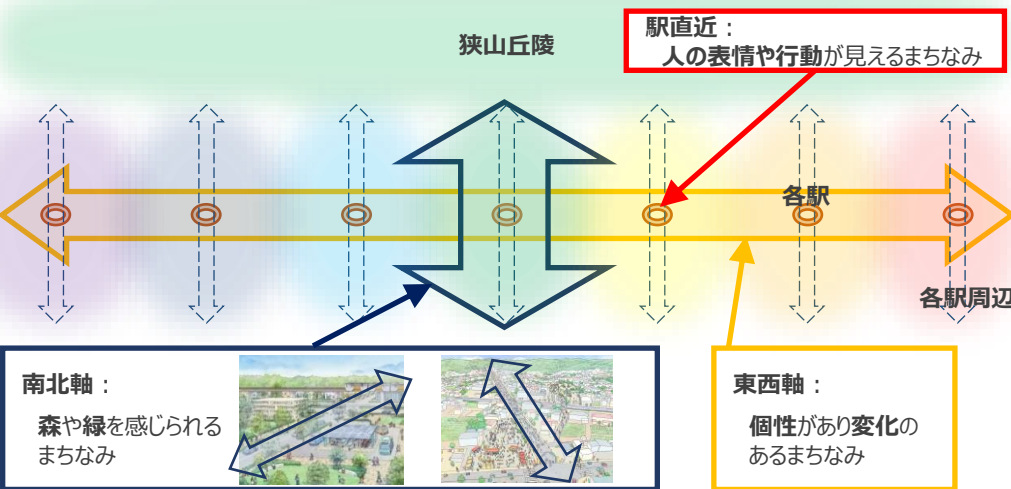
関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

森や緑と一体となったまち（南北軸）、個性やメリハリあるまち（東西軸）

- ・ 狭山丘陵につながる緑の軸を形成、狭山丘陵やモノレールと一体となった風景を創出
- ・ 7つの特徴あるまち、それらをつなぐモノレールにより、変化のあるまちなみ・風景を創出

人の表情や行動が見えるまち

- ・ 駅等を中心として、生活し活動する「人」の表情や行動が見えるまち



◎は駅を示す

実施ステップ

	短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
⑬ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	延伸部のまちの風景を発信		土地利用や建物形態の規制誘導	

6 まちづくりのプロジェクト

6.1 分野別のプロジェクト

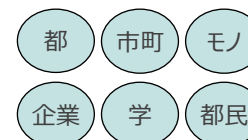
⑱ まちづくり発信プラットフォームの構築

実施内容

地域の魅力やまちの将来像、地元市町の取組など、まちづくりの情報を一元的に発信するプラットフォームを構築

- ・まちづくりの情報をマップ等から一元的に発信、多様な主体の連携・協働を通じて共創を実現
 - ✓ 沿線の自然や産業など地域の魅力の発信（狭山丘陵、東京狭山茶、村山かてうどん、子供の遊び場など）
 - ✓ まちづくりのイベントとあわせたまちの将来像の発信（「人やコトとの出会いにより子供・若者が成長し未来を創るまち！」、まちの象徴となる駅舎デザイン）
 - ✓ リアルタイムなまちの情報提供（村山デエダラまつり、施設利用状況）

実施主体



関係する主体を水色、
主導する主体を太線で示す

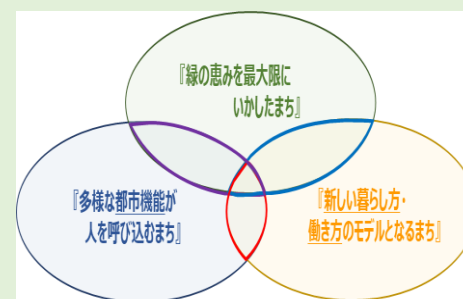
まちづくり発信プラットフォームイメージ



沿線の自然や産業など地域の魅力の発信



地域の将来像の発信



まちづくりのイベント等の発信



まちの象徴となる駅舎デザインの発信



6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.1駅）

（仮称）No.1駅：先進的な子育てで主体的に子供が成長できるまち

- 子供の遊び場や教育、住居の機能等を集積し、子育て世代が住みやすい環境を誘導
- 村山団地の創出用地等を活用し、子供の遊び場やワークスペース等の整備を誘導
- 先進的な教育や狭山丘陵の緑をいかした自然教育等の特長ある教育を誘致



（イメージ）



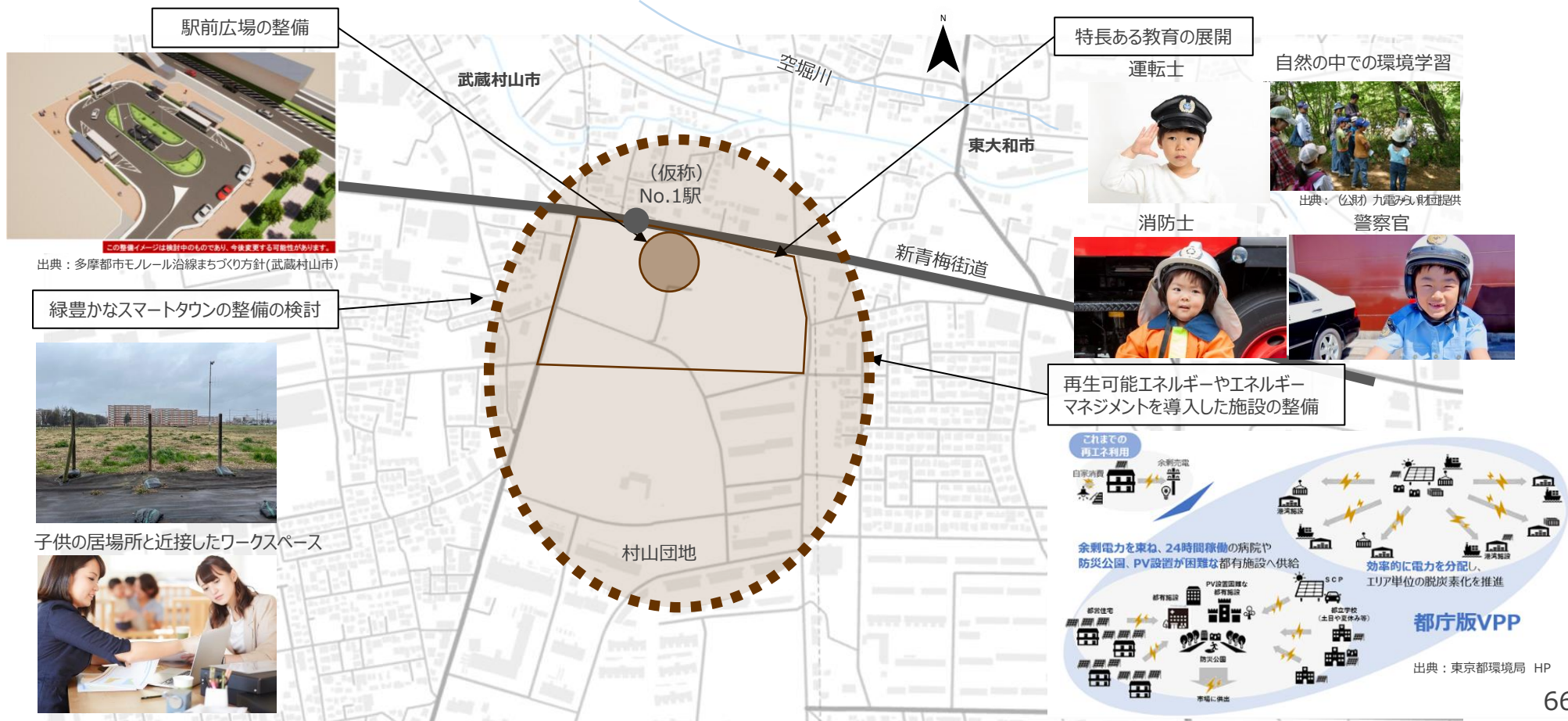
プロジェクト	内容
① 自然や地域と結びついた子育ての発信	・ 狭山丘陵での環境学習や、沿線の現場でのリアルな仕事体験プログラムを展開
② 新たなスマートタウンの整備	・ 狭山丘陵等の自然の中で、まちの将来を担う子供や若者が育ち、新たなライフスタイルやのモデルとなる先進エリアを形成
⑫ 再生可能エネルギーの実装	・ 行政、民間、地域の住民など様々な主体の取組により延伸部沿線のゼロエミッションの実現
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	・ モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	・ 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	・ 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ・ 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	・ 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.1駅）

実施内容・イメージ

- ・ 村山団地の創出用地等を活用し、多摩ならではの緑豊かなスマートタウンを整備
- ・ 子供の遊び場や保育施設、子供の居場所と近接したワークスペース等を整備し、子育て世代を呼び込む。
- ・ 緑豊かでエネルギー効率が高い住宅の整備、高齢者の暮らしを支えるIoTを活用した生活支援サービスの展開
- ・ 豊かな自然や多様な世代との交流拠点の形成、先進的な教育の展開など新たな暮らし方・働き方のモデルを発信



6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.2駅）

（仮称）No.2駅：医療を中心としたメディカルタウン

- リハビリやパラスポーツ等が行える公園や施設の整備を誘導
- 患者の家族や関係者が安心して看護できるよう、医療施設の周辺に宿泊機能等を導入
- 地域の医療拠点として、アクセス利便性の向上及び移動手段の充実を図る



（イメージ）



プロジェクト	内容
③ ウェルネス拠点の形成	・ 医療・福祉施設及び公共施設の集積をいかし、住民の健康増進を図るウェルネス拠点を形成
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	・ モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	・ 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	・ 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ・ 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	・ 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.2駅）

実施内容・イメージ

- ・ 駅と医療・福祉施設、公園等を結ぶ歩行空間・移動環境を整備
- ・ 武蔵村山市民総合センター、雷塚公園等を活用し、医療機関や大学等と連携した健康教室やスポーツイベント等を開催
- ・ 狭山丘陵の緑や空堀川など水辺空間を巡るウォーキングイベントも展開し、医療と自然が融合したまちづくりを推進

武蔵村山市

(仮称) No.2駅

新青梅街道

(仮称) No.1駅

東大和市

武蔵村山市民総合センターの活用
健康増進に向けた啓発活動等

国立病院機構
村山医療センター

国立感染症研究所

東京小児療育病院

村山団地

雷塚公園の活用
スポーツイベントの開催等

駅と医療施設等を結ぶ
歩行空間・移動環境の整備

出典：武蔵村山市 HP

出典：武蔵村山市 HP

出典：株式会社コトブキ

インクルーシブ遊具

ポッチャ体験

Detailed description: The diagram shows a map of the area around (仮称) No.2 Station. A brown line indicates a proposed walking route connecting the station to various facilities. Callout boxes provide details: 1. '駅と医療施設等を結ぶ歩行空間・移動環境の整備' (Improvement of walking space and moving environment connecting station and medical facilities) points to the route. 2. '雷塚公園の活用 スポーツイベントの開催等' (Utilization of Raizuka Park for sports events) points to a park area. 3. '武蔵村山市民総合センターの活用 健康増進に向けた啓発活動等' (Utilization of the center for health promotion activities) points to a building. 4. '国立病院機構 村山医療センター' (National Hospital Organization Murayama Medical Center) is labeled. 5. '国立感染症研究所' (National Institute of Infectious Diseases) is labeled. 6. '東京小児療育病院' (Tokyo Children's Rehabilitation Hospital) is labeled. 7. '村山団地' (Murayama Danchi) is labeled. Two inset photos show 'インクルーシブ遊具' (Inclusive play equipment) and 'ポッチャ体験' (Pochcha experience) activities. Source information is provided for each photo and the map.

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.3 駅）

（仮称）No.3 駅：機能が集積されたコアシティ

- 人々が集まり、地域の顔となる**駅前広場**の整備を促進
- No.3 駅**周辺**に、都市機能（業務、商業、飲食等）が集積した**中高層建築物**を誘導
- **既存商業エリア**において、**集客を生み出す新たな機能**を誘導
- 駅、既存商業エリア、狭山丘陵の**にぎわいをつなぐ軸**を形成



プロジェクト	内容
① 自然や地域と結びついた子育ての発信	・ 狭山丘陵での環境学習や、沿線の現場でのリアルな仕事体験プログラムを展開
⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開	・ 沿線の自然で憩い、地域の名産を味わい、歴史・文化に触れる、五感を刺激するツーリズムを展開
⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備	・ ツーリズムの展開に加え、周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した観光拠点や宿泊拠点の整備
⑫ 再生可能エネルギーの実装	・ 行政、民間、地域の住民など様々な主体の取組により延伸部沿線のゼロエミッションの実現
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	・ モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	・ 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	・ 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ・ 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	・ 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.3 駅）

実施内容・イメージ

- ・ 駅周辺の商業施設等と連携したリアルな仕事体験プログラムを展開
- ・ イベントとあわせた新たなモビリティの運行（周辺施設での太陽光発電で運行するバス等）
- ・ 公有地や民有地を活用し、狭山丘陵等の自然、地域の歴史・文化及び食をいかしたツーリズムの拠点を形成
- ・ グランピング施設やZ E H仕様のホテルなど、周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した宿泊施設を誘致
- ・ 沿線の施設への太陽光発電の導入促進及び既存住宅や新たに整備される住宅への太陽光発電設備等の設置支援
- ・ 人々が集まり、地域の顔となる駅前広場を整備、集客施設や南北方向を結ぶ歩行者空間を確保

村山デエダラまつり



出典：武蔵村山市P

グランピング



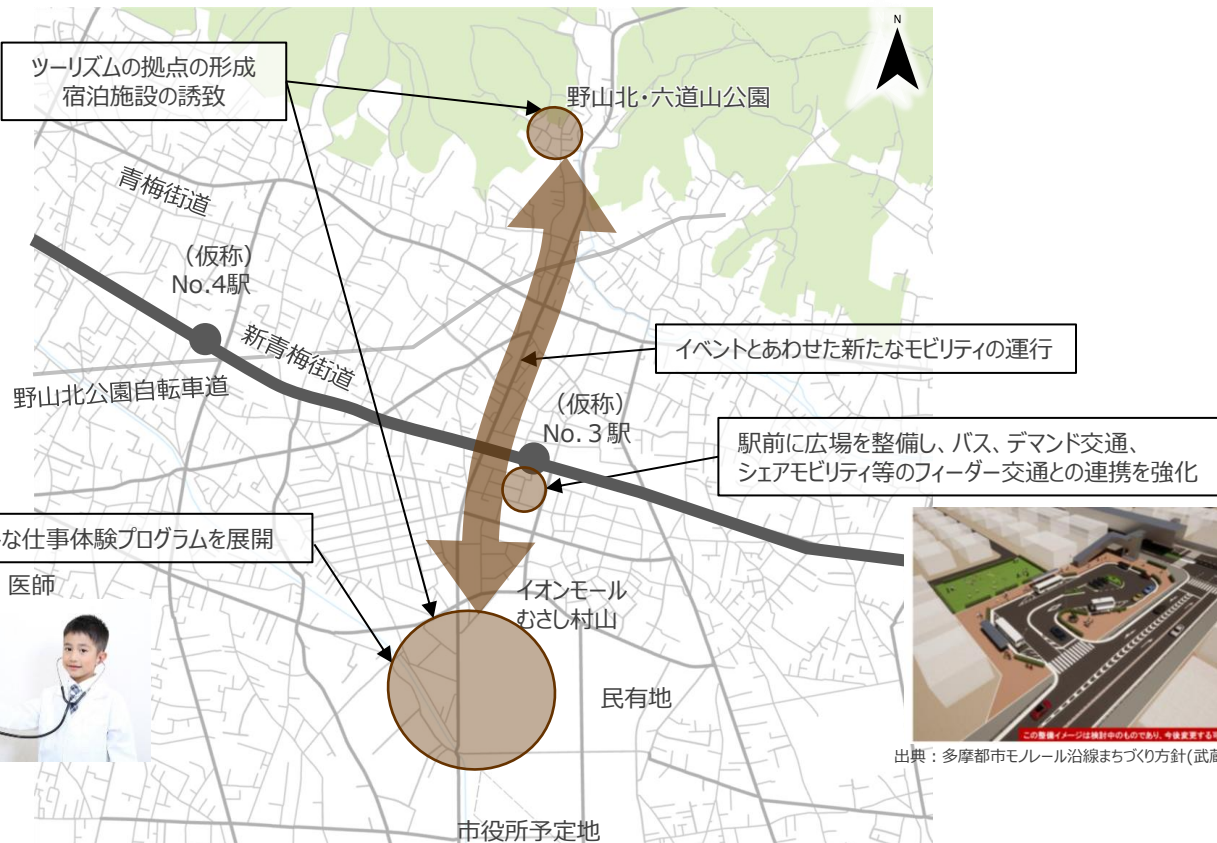
出典：snow peak HP

駅周辺の商業施設等と連携したリアルな仕事体験プログラムを展開

販売員



医師



出典：多摩都市モレール沿線まちづくりの方針(武蔵村山市)

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.4駅）

（仮称）No.4駅：スポーツアクティビティが人を呼び込むまち

- にぎわい拠点に隣接するエリアとして、土地利用の変換などにより、**中高層住宅**を誘導
- **気軽に球技等**ができ、**子供が安心して遊べる公園**の整備を促進
- 自転車通行空間や駅周辺等に**スポーツアクティビティ施設**を誘致し、スポーツによる**健康増進**や**地域活性化等**の効果をまちに浸透
- **生活利便施設**の誘致や**夜も明るい環境**を整備し、安全で暮らしやすいまちを形成



（イメージ）



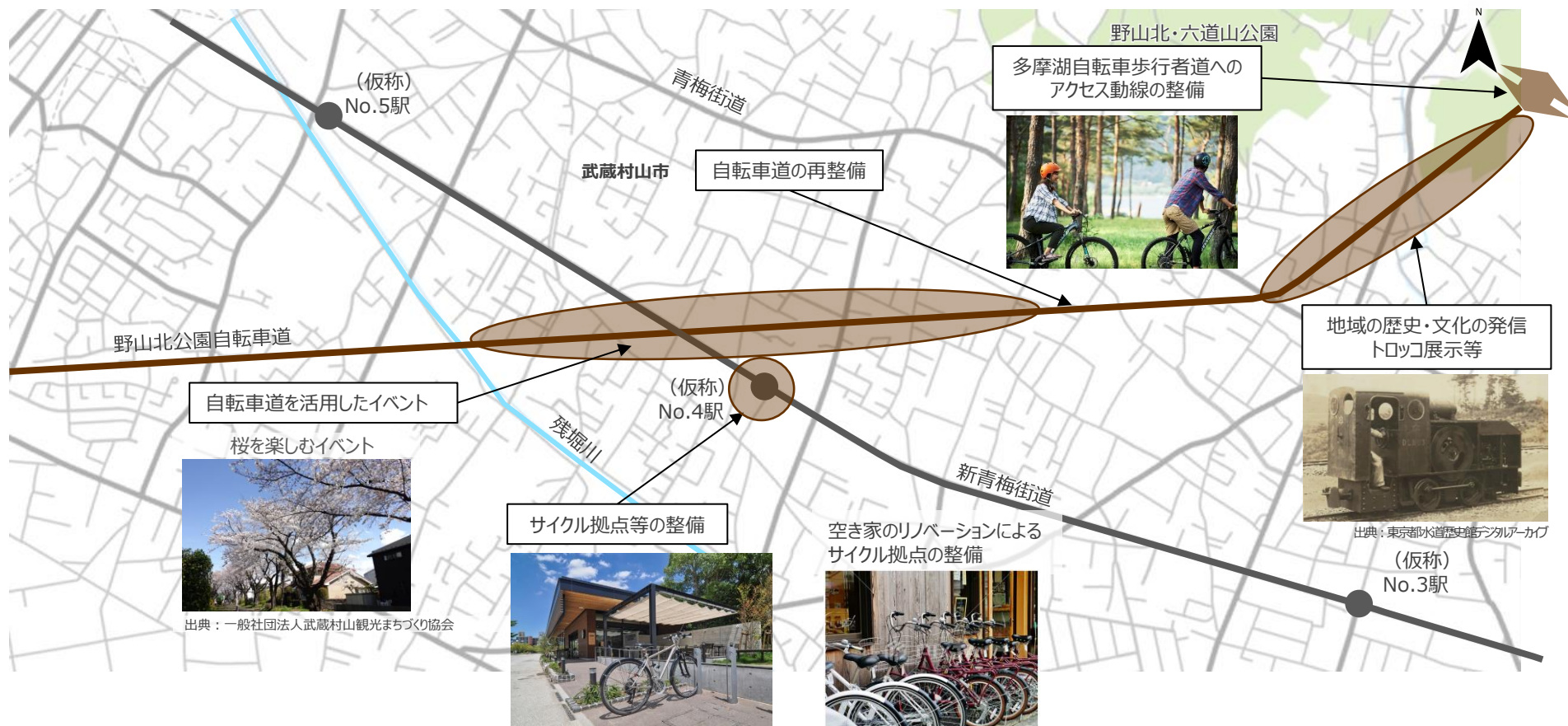
プロジェクト	内容
⑦ 野山北公園自転車道の再整備	● 地域を貫く野山北公園自転車道をいかし、スポーツやレクリエーションの軸・拠点を形成
⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出	● 東京が誇る湖である多摩湖を活用したイベントの開催やにぎわい施設等の整備
⑬ 緑と水のネットワークの形成	● 狭山丘陵、多摩湖、野山北・六道山公園、残堀川等を結び付け、緑と水のネットワークを形成
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	● モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	● 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	● 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ● 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	● 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.4駅）

実施内容・イメージ

- ・ 野山北公園自転車道を活用したイベント（「桜マルシェ」等）及び軽便鉄道跡地等の地域の歴史・文化を発信
- ・ 駅周辺のサイクル拠点等の整備
- ・ 自転車道の再整備及び多摩湖自転車歩行者道へのアクセス動線の整備（事業手法の検討）



6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.5駅）

（仮称）No.5駅：多世代が交流する活力あふれるまち

- 地元学生等が企画するダンス教室やダンスを通じて地域住民が交流できる環境を形成
- ダンス等を通じて、健康寿命の延伸など高齢者の健康増進を図る
- 自動配送ロボットの導入や発電住宅の誘致等、先進技術を取り入れた暮らしやすい住環境を誘導
- 生活利便施設の誘致や夜も明るい環境を整備し、安全で暮らしやすいまちを形成



出典：都立武蔵村山高校提供



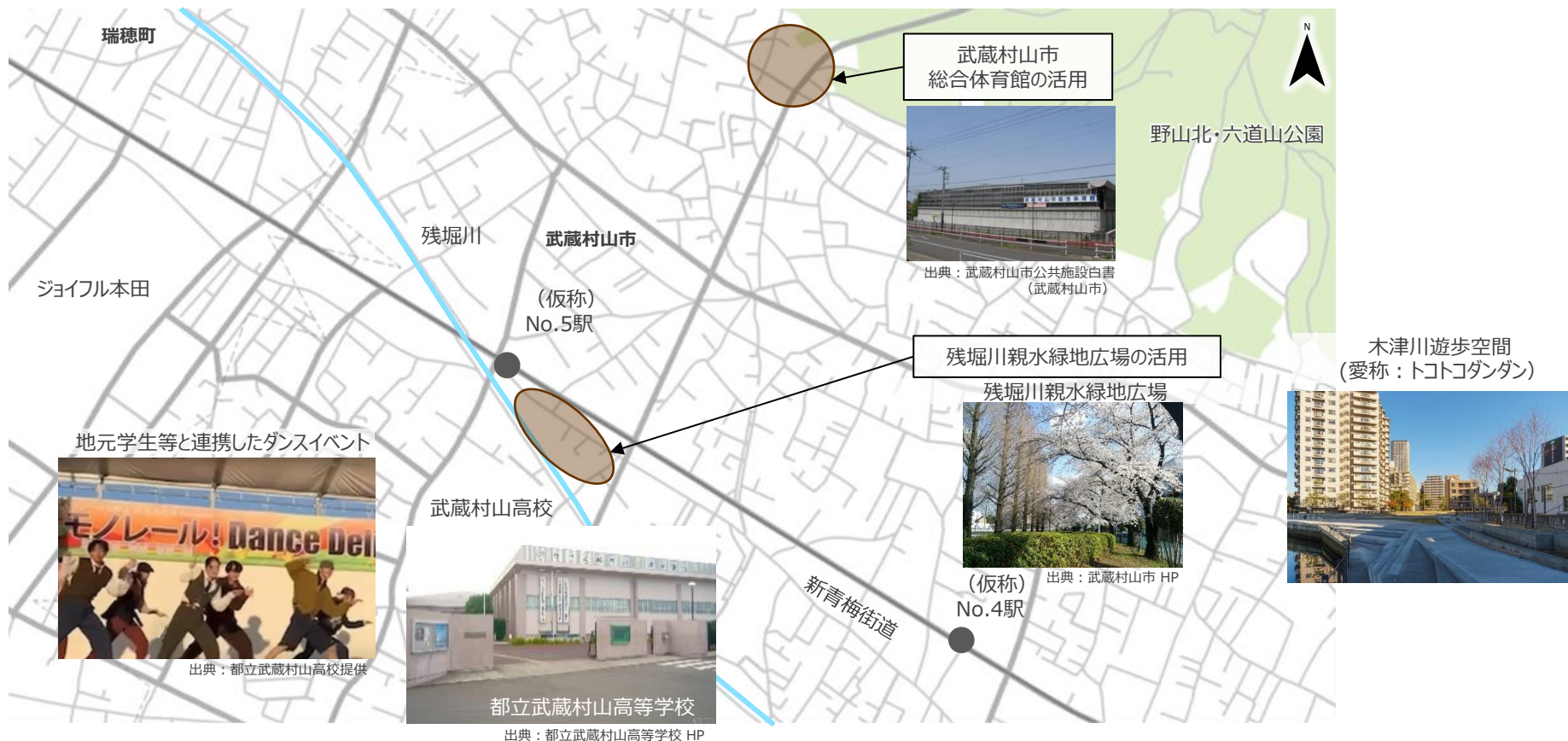
プロジェクト	内容
④ 水辺空間を活用した交流拠点の形成	● 水辺空間等を活用し、多様な世代の地域住民が交流できる拠点を創出
⑬ 緑と水のネットワークの形成	● 狭山丘陵、多摩湖、野山北・六道山公園、残堀川等を結び付け、緑と水のネットワークを形成
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	● モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	● 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	● 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ● 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	● 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.5駅）

実施内容・イメージ

- ・ 残堀川親水緑地広場等を人が集まり交流できる空間として活用
- ・ 地元学生等と連携したダンスイベント等を通じて、子供や若者から高齢者まで多世代の交流を促進
- ・ 武蔵村山市総合体育館、沿線の公園・広場等を含めたイベントの拡大により、地域の観光資源としても発信

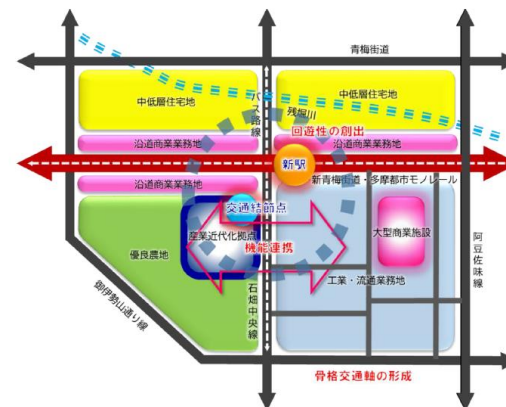


6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.6駅）

（仮称）No.6駅：先進農業などイノベーションを創出するまち

- No.6駅南側の農地において、デジタル技術を活用したスマート農業を展開
- スマート農業を通じた様々な産業の交流と新たな担い手づくりを促進
- 自動運転バスの導入などの新たな技術を活用
- インキュベーションオフィスを整備し、スタートアップ企業を誘致するなど、イノベーション創出環境を構築
- 地域の産業等と連携し、見学会等を行い、地域内外から人を呼び込む



出典：多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画（瑞穂町）



プロジェクト	内容
⑨ モノづくりムーブメントの展開	沿線の農地での農業体験、特長ある工場の見学会、ワークショップ等により、モノづくりを楽しむ機運を醸成
⑩ 次世代の産業拠点の形成	沿線の農地や工場とも連携し環境にもやさしい次世代型の産業拠点を形成
⑫ 再生可能エネルギーの実装	行政、民間、地域の住民など様々な主体の取組により延伸部沿線のゼロエミッションの実現
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.6駅）

実施内容・イメージ

- ・ 「インキュベーション・交流拠点・ワークプレイス」、「研究開発拠点」及び「スマート農業実装拠点」を設け、ビジネス経営支援事業やスマート農業推進事業の展開を目指す。
- ・ 工場の見学会や、多摩産材をつかった家具づくりのワークショップを開催
- ・ 沿線の商業施設や工場の屋上や壁面及び農地の上部空間への太陽光発電の導入促進
- ・ 既存住宅や新たに整備される住宅への太陽光発電設備等の設置支援
- ・ 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化

モノづくりムーブメントの展開

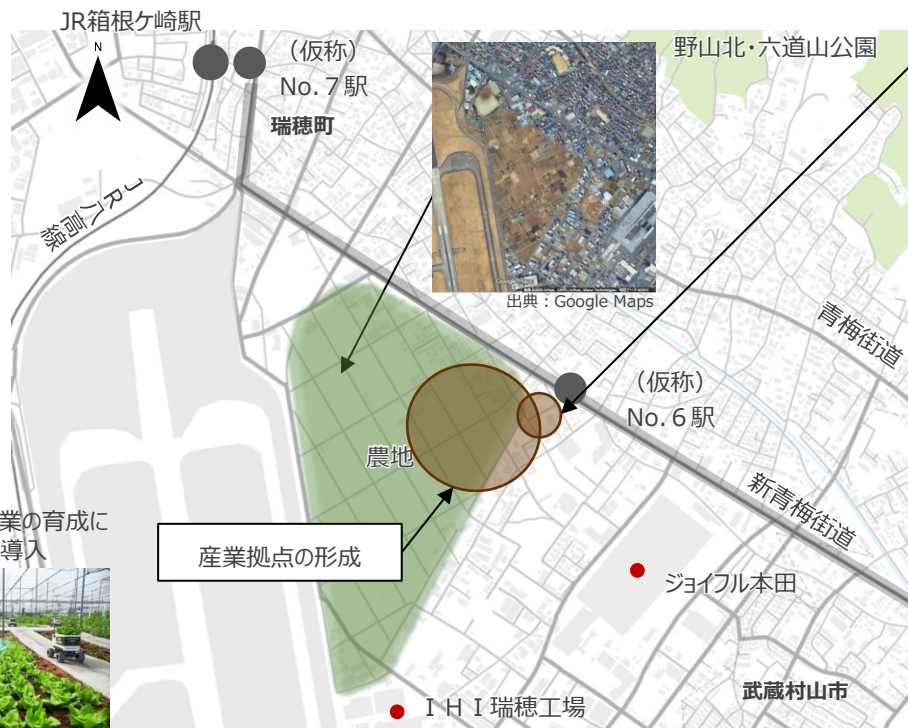
ワークショップ
多摩産材をつかった家具づくり



工場見学会
モノづくりの工程
（開発・生産・整備）を見学



スマート農業
リーディング産業の育成に
向けた機能を導入



駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、
シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化



出典：多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画（瑞穂町）

再生エネルギーの実装

沿線の商業施設や工場、農地の上部
空間への太陽光発電の導入
住宅への太陽光発電設備の
設置促進

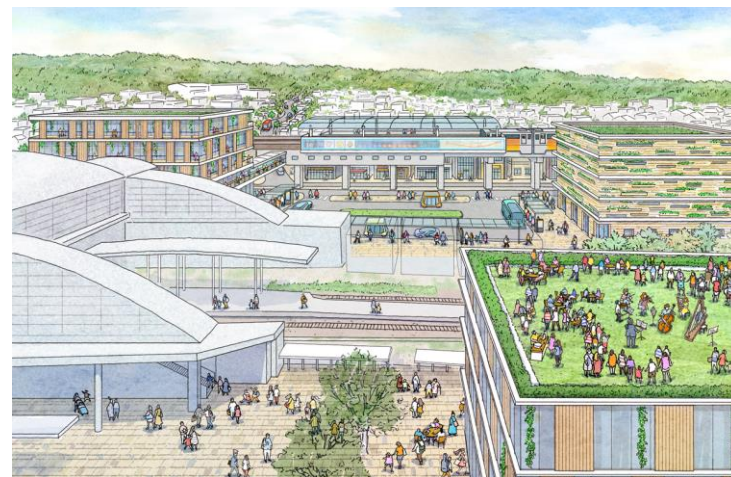


6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.7駅）

（仮称）No.7駅：モノレールとJRで結ばれる西側の玄関口

- JRとの乗換利便性の確保、機能的で人にやさしい駅前広場の整備を促進
- 駅周辺の空間を活用し、先進技術の見本市の開催等、企業連携や交流等を促進し、イノベーションや地域活力の向上を実現
- 周辺の拠点及び狭山丘陵までのアクセス利便性向上のため、自動運転の導入等、フィーダー交通を充実



（イメージ）



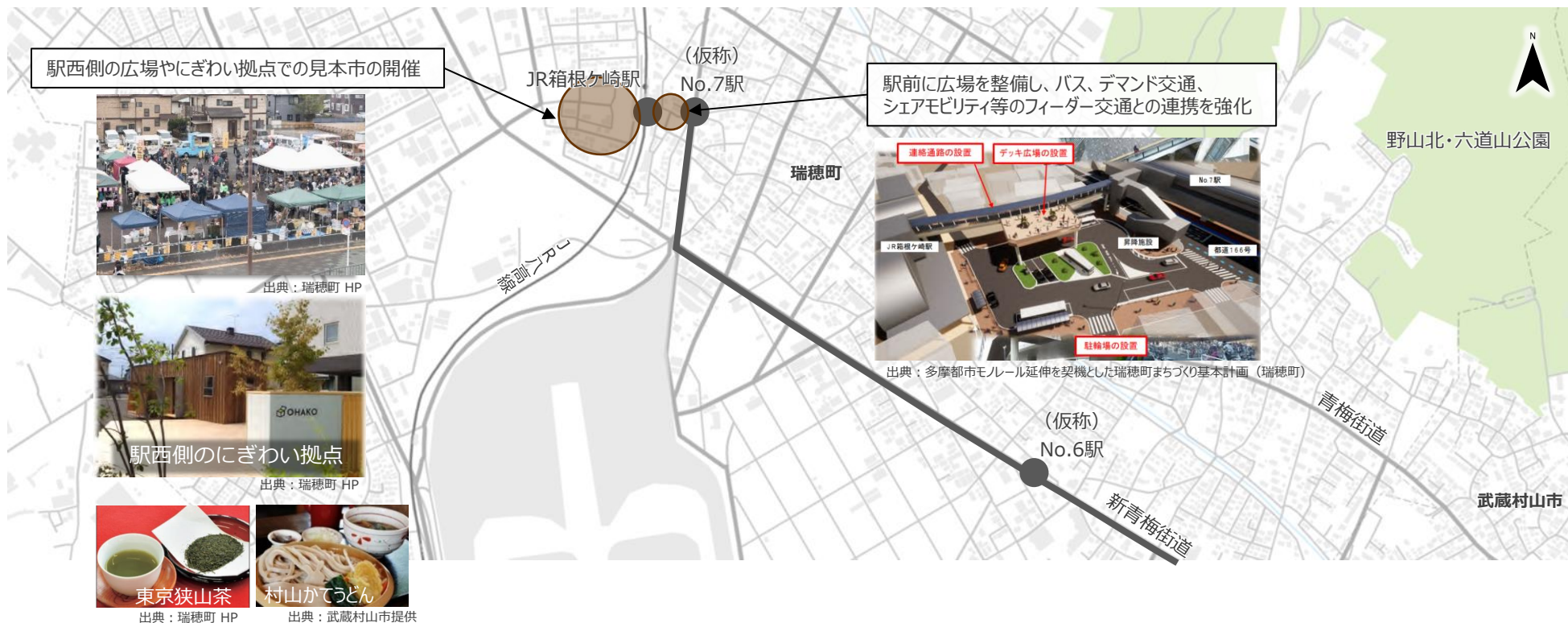
プロジェクト	内容
⑩ 地域が誇る「食」「農」「工」の見本市	・ 駅周辺の広場やにぎわい拠点を活用し、地域が誇る「食」「農」「工」の見本市を開催
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	・ モノレール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化
⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	・ 駅前に広場を整備し、バス、デマンド交通、シェアモビリティ等のフィーダー交通との連携を強化
⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	・ 子供をはじめ都民の意見を取り入れ、まちの象徴となる駅舎デザインを検討 ・ 個性ある7つの駅と沿線が一体となったまちなみ・風景が人々を魅了し、引き付けるよう、まちをトータルデザイン
⑰ 歩いて暮らせるまちづくり	・ 駅周辺への生活に必要な機能の集約とあわせ、高齢者や子供も移動しやすい空間を整備

6 まちづくりのプロジェクト

6.2 各駅周辺のプロジェクト（（仮称）No.7駅）

実施内容・イメージ

- ・ JR箱根ヶ崎駅の西側の将来の土地利用を見据え、広場、にぎわい拠点等を暫定活用し、地域が誇る名産品や、伝統工芸品の見本市を開催
- ・ 垂直水耕栽培、航空エンジン等の「食」「農」「工」に関連する先進技術の見本市を開催
- ・ No.6駅周辺での次世代の産業拠点及びNo.7駅のデッキ広場の整備を見据えた見本市の規模拡大の検討
- ・ 自由通路やデッキの整備による機能的かつ人にもやさしい駅前広場を整備
- ・ 駅から沿線へのアクセスを向上する自動運転、シェアモビリティなど多様なモビリティを確保
- ・ 駅前への商業・業務機能の集積については、事業者等と協力しながらにぎわいと回遊性の創出



6 まちづくりのプロジェクト

6.3 狭山丘陵等のプロジェクト

上北台駅：狭山丘陵のゲートシティ

- 集客拠点である**西武ドーム**までのアクセスを向上
- 東大和市立狭山緑地（フィールドアスレチック等）やプラネタリウム等の**子供の遊び場**までのアクセスを向上
- 駅周辺でのにぎわいを創出するとともに、自動運転バス、次世代モビリティ等の導入を検討



狭山丘陵：豊かな自然をいかした集客施設を分散して配置

- 地域の資源を生かして、**ここでしか体験できない「コト消費」**につなげる
- 豊かな自然をいかした**新たな集客施設**を、立地を踏まえて**適切に分散配置**
- 自然をいかした**遊び場**、**自然学習施設**、**ワーケーション施設**等を誘致
- 自然を感じ、**富士山**等の眺望が楽しめる**トレッキングコース**を整備
- 狭山丘陵周辺の集客拠点等に**モビリティハブ**を整備
- エネルギーの地産地消の実現に向けて、**発電する遊び場**等、**新たな発電装置**を導入
- 里地里山や農地の保全など適切なマネジメントを推進するとともに、公有施設や民間施設等で**グリーンインフラ**を導入



出典：(株)プロジェクトアドベンチャー
ジャパン

プロジェクト	内容
⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開	● 沿線の自然で憩い、地域の名産を味わい、歴史・文化に触れる、五感を刺激するツーリズムを展開
⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備	● ツーリズムの展開に加え、周辺の自然環境及び歴史・文化と調和した観光拠点や宿泊拠点の整備
⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出	● 東京が誇る湖である多摩湖を活用したイベントの開催やにぎわい施設等の整備
⑬ 緑と水のネットワークの形成	● 狭山丘陵、多摩湖、野山北・六道山公園、残堀川等を結び付け、緑と水のネットワークを形成
⑭ 道路ネットワークの充実・強化	● モルルール周辺のまちと狭山丘陵をつなぐ都市計画道路等の整備により、沿線の道路ネットワークを充実・強化

6 まちづくりのプロジェクト

6.3 狭山丘陵等のプロジェクト

実施内容・イメージ

- ・ 多摩湖畔で花見、フェス、紅葉ライトアップ、多摩湖駅伝大会など四季折々のイベントを展開
- ・ 多摩湖自転車歩行者道を誰もが親しみやすいサイクリング・ウォーキングコースとして活用・P R
- ・ まちから多摩湖自転車歩行者道へのアクセス空間で、沿道の空き家等をリノベーションしたカフェ等のにぎわい施設を整備
- ・ 東大和市立狭山緑地（フィールドアスレチック等）を改修、観光案内所や展望カフェ、サイクル拠点等を整備
- ・ 狭山丘陵等で憩い、地域の名産の食を味わい、歴史・文化に触れるなど、まちの魅力を体感する観光ルートを整備
- ・ 狭山丘陵等の自然、地域の歴史・文化及び食をいかしたツーリズムの拠点を形成、宿泊施設を誘致
- ・ 次世代モビリティ等の移動手手段の確保を検討



サイクル拠点



サイクリングコースの活用・P R



東大和市立狭山緑地の改修



多摩湖の眺望



整備イメージ



出典：西和貿商会HP

出典：東大和市HP

6 まちづくりのプロジェクト

6.4 プロジェクトの実施ステップ一覧

		短期 R8年度	R9～10年度	中期 R10～13年度	長期 R13～16年度
子育て・暮らし	① 自然や地域と結びついた子育ての発信	イベントとあわせた先行的な実施	沿線の施設等と連携した規模の拡大		
	② 新たなスマートタウンの整備	村山団地の創出用地等を活用したスマートタウンの整備の検討及び調整			
	③ ウェルネス拠点の形成	健康教室やスポーツイベント等の開催		歩行空間・移動環境の整備	雷塚公園等の更新
	④ 水辺空間を活用した交流拠点の形成	残堀川親水緑地広場を活用したイベント等の実施		沿線の施設や公園・広場等を含めたイベントの拡大	
観光・交流・文化	⑤ まちの魅力を体感するツーリズムの展開	No.3駅周辺を中心とするツーリズムの展開		沿線の農地や飲食店、史跡と連携したルートの拡大	
	⑥ 観光拠点・宿泊拠点の整備		移動式ユニット等を活用した宿泊体験イベントの開催		観光拠点・宿泊拠点等の整備
	⑦ 野山北公園自転車道の再整備	自転車道を活用したイベント等の開催 (サイクリング、マルシェ、軽便鉄道ウォーキング等)		沿道での賑わい施設・サイクル拠点等の整備、自転車道の再整備	
	⑧ 多摩湖を活用したにぎわい創出	湖畔での四季折々のイベントの開催		展望カフェ・サイクル拠点等の整備	
産業	⑨ モノづくりムーブメントの展開	No.6駅周辺での工場見学会・ワークショップの開催		農地への宿泊施設の併設・農泊の推進	
	⑩ 地域が誇る「食」「農」「工」の見本市		JR箱根ヶ崎駅西側の広場やにぎわい拠点での見本市の開催		見本市の規模の拡大の検討
	⑪ 次世代の産業拠点の形成	事業スキームの検討、都市計画等手続		用地取得、工事着手	産業拠点の形成
環境・エネルギー	⑫ 再生可能エネルギーの実装	多摩都市モノレール（駅利用）への導入を検討、イベントとあわせた新たなモビリティの運行			スマートタウンの整備
	⑬ 緑と水のネットワークの形成	野山北公園自転車道、多摩湖周辺の公園・緑地等の活用		都市計画公園・緑地の整備方針に基づく事業の推進	
インフラ	⑭ 道路ネットワークの充実・強化		事業中の路線や東京における都市計画道路の整備方針に基づく優先整備路線の整備		
	⑮ 交流を生み出す駅前広場等の整備	駅前広場等の検討、シェアモビリティの検討、新たなモビリティの試験的導入 自動運転実装（レベル2）	駅前広場等の設計、案内誘導等の検討、シェアサイクルの拡大、自動運転実装（レベル2）	駅前広場等の設計、案内誘導等の検討、自動運転実装（レベル4）	フィーダー交通の検討・導入 駅前広場、案内誘導等の整備
土地利用・景観	⑯ 地域を象徴するまちなみ・風景の創出	延伸部のまちの風景を発信	駅舎のデザイン・設計・整備 土地利用や建物形態・デザイン等の規制誘導		
	⑰ 歩いて暮らせるまちづくり		駅周辺まちづくり協議会での検討（No.1～5駅） 都市計画変更の検討、都市計画変更、立地適正化計画に基づく施設の誘導 土地区画整理事業の推進（No.3駅及びNo.6駅）、ウォークアブルな空間の形成		

7 今後のまちづくりの進め方

7 今後のまちづくりの進め方

7.1 地域の将来像の実現に向けたロードマップ

- 多摩都市モノレール延伸部の2030年代半ばの開業に先駆け、駅舎デザインのPR、市町による各種イベントの実施、都有地の弾力的な活用及びリーディングプロジェクトの展開を図ることにより、まちづくりの機運向上、地域のブランディング及び人や開発の呼び込みを図っていく。

地域の将来像

『新しい暮らし方・働き方のモデルとなり、
多様な都市機能が人を呼び込み、
緑の恵みを最大限にいかしたまち』



2026年度～：リーディングプロジェクト
延伸に先駆けまちづくりを先導→機運向上及び開発の呼び込み

2025年度：まちづくり・プロジェクト検討会
プロジェクトの具体化→まちづくり実施計画の策定

2024年度：多摩のまちづくり戦略
多摩都市モノレール延伸部の地域の将来像を打ち出し

7 今後のまちづくりの進め方

7.2 まちづくりを先導するリーディングプロジェクト

- 以下の考え方にに基づき、まちづくりを先導するプロジェクトをリーディングプロジェクトとして位置付けて展開していく。

今ある**現地の地域資源**を総動員し、**まちの魅力や将来像を発信!!**

公有地・低未利用地や**既存の施設**を柔軟に活用し、**スピード感のあるまちづくり**を展開!!

様々な主体が**連携・協働**し、**みんなでまちをつくる!!**

■ 自然や地域と結びついた子育ての発信 (①)

- ✓ 狭山丘陵での**環境学習イベント**
- ✓ 沿線の**現場でのリアルな仕事体験プログラム**



■ モノづくりムーブメントの展開 (⑨)

- ✓ 「食」「農」「工」見本市
- ✓ **農業体験**及び**工場見学会**



■ まちの魅力を感じ取るツーリズムの展開 (⑤)

- ✓ **空き家や移動式ユニット**を活用した**滞在空間**
- ✓ 沿線の**資源**を生かした**五感を刺激するツーリズム**



出典：MUJIHOUSEHP

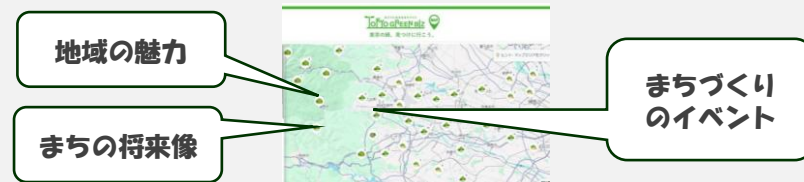


出典：武蔵村山市提供

■ まちづくり発信プラットフォームの構築 (⑱)

- ✓ まちづくりを一元的に発信する**プラットフォーム**
- ✓ 民間企業や大学など**多様な主体の連携・協働**

まちづくり発信プラットフォームイメージ



※○数字は、P.30で示したプロジェクトのNo.

7 今後のまちづくりの進め方

7.2 まちづくりを先導するリーディングプロジェクト

- No.3駅を核として、まちの魅力や将来像を発信するイベントを展開することにより、まちづくりの機運を高めていく。
- 地元市町や企業など関係者協働の広域的な取組へと拡大し、まちの目玉を生む中長期的なプロジェクトへとつなげていく。



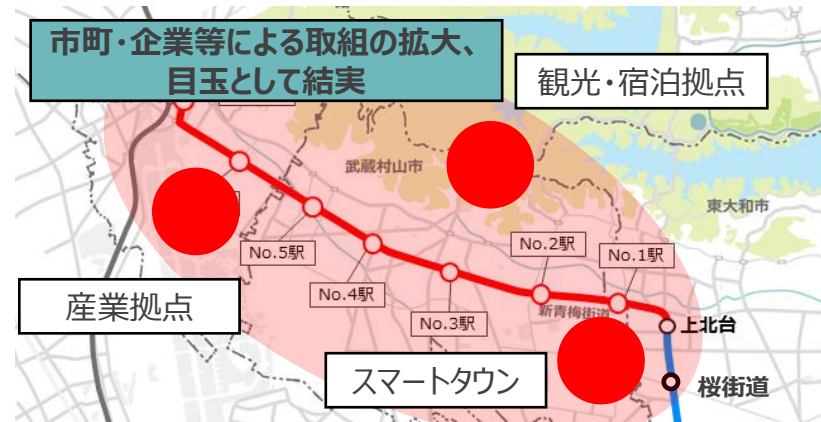
2026～2028年度：
No.3駅を核としたイベント



2028～2031年度：
関係者協働の広域的な取組



2031～2034年度：
まちの目玉の誘導・創出



自然や地域と結びついた子育ての発信

まちの魅力を感じ取るツーリズムの展開

モノづくりムーブメントの展開

まちづくり発信プラットフォームの構築

再生可能エネルギーの実装

道路ネットワークの充実・強化、交流を生み出す駅前広場等の整備、歩いて暮らせるまちづくり

都立高校の魅力向上（教育の質の向上、地域との連携、グローバル人材の育成及び多様な生徒を支える仕組み）

企業立地支援（建設、設備導入）、地域の名産のブランディング（東京狭山茶 等）

新たなスマートタウンの整備

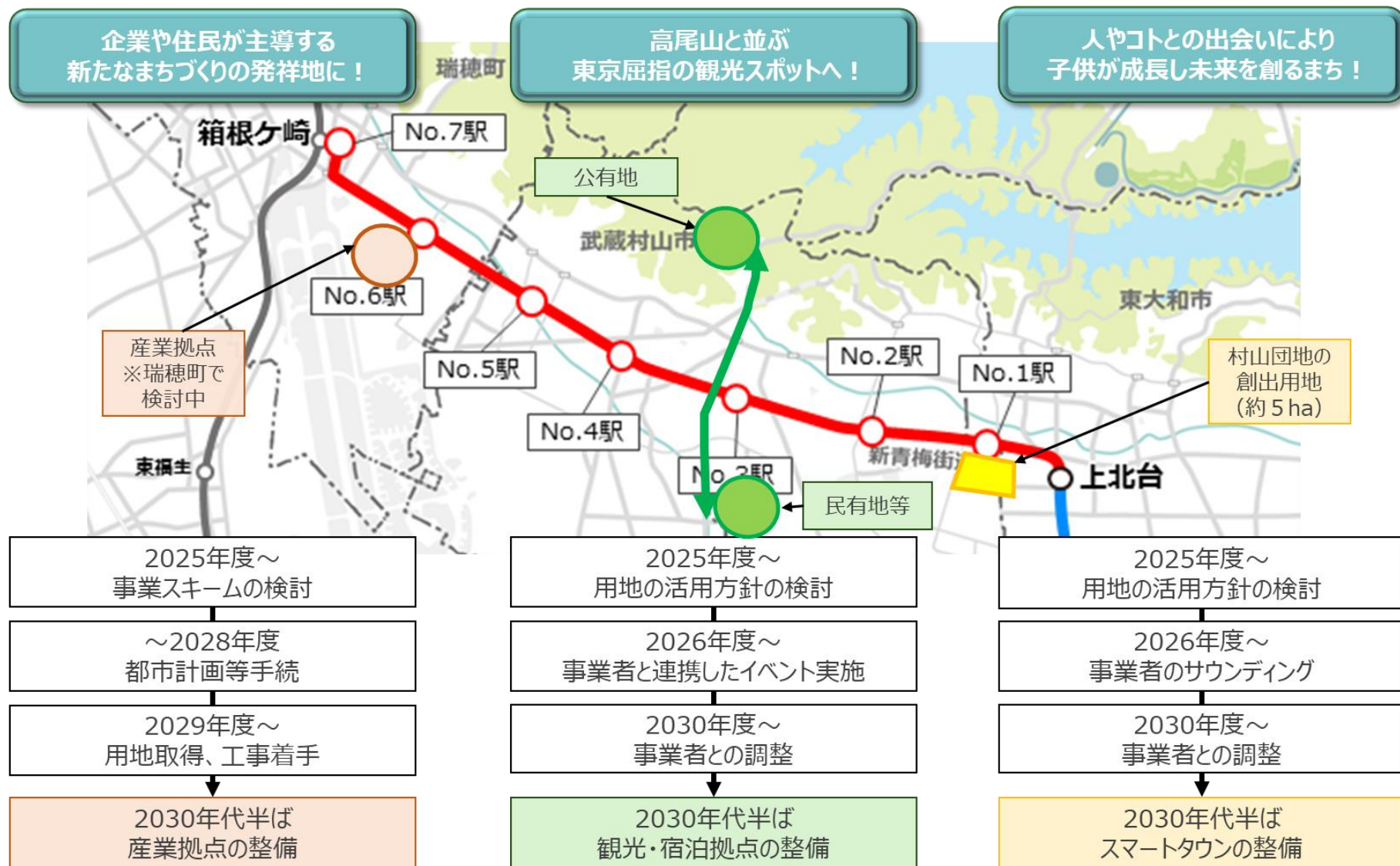
観光拠点・宿泊拠点の整備

次世代の産業拠点の形成

7 今後のまちづくりの進め方

7.3 中長期的なまちづくりのシナリオ（想定）

- 今後、以下のとおり、中長期的なまちづくりについても検討を深度化していく。



Column 多摩都市モノレールってな～に？

多摩都市モノレールは、平成10年の開業以来、多摩地域の基幹交通として南北移動を支えています。

令和5年2月には累計乗車人数10億人を達成し、8月には多摩地域唯一の日本夜景遺産にも認定されました。

多摩都市モノレールの沿線には、多摩動物公園、昭和記念公園、サンリオピューロランドなど、親子で楽しめる施設が多くあります。また、たまモノ子育て応援事業として、子供向け企画乗車券を販売し、子育てにやさしいまちづくりにも貢献しています。

今後は、箱根ヶ崎方面への延伸などにより、多摩地域で暮らし、働き、遊ぶ人にとって、ますます大事な公共交通になることが期待されます。未永く地域に愛される「マイレール」として、これからも多摩地域を支えていきます。



多摩モノレール
PR担当タマオ



たまモノ子どもワンデーパス

写真及びタマオイラスト提供：多摩都市モノレール(株)



夜景（高幡不動駅周辺）



累計乗車人数10億人達成ノベルティ配布



TAMAMONO ぐるっと
プレミアムガイド

参考1 検討の経緯

- 本計画の策定に当たっては、有識者や地元市町等で構成する検討会において、以下のとおり検討を進めてきた。

令和5年7月19日	多摩都市モノレール延伸部（箱根ヶ崎方面） 沿線のまちづくり有識者検討会（第1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿線まちづくりの進め方について ・ 2市1町の現況と検討状況について
令和5年9月12日	同検討会（第2回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリア将来像及び沿線の機能分担 ・ 2市1町の検討状況について
令和5年11月1日	同検討会（第3回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像（コンセプト）、導入機能、プロジェクトの方向性等 ・ 2市1町の検討状況について
令和5年12月22日	同検討会（第4回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりのプロジェクトコンセプト（案）等 ・ 2市1町の検討状況について
令和6年1月26日	「多摩のまちづくり戦略」（素案）公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都民等からの意見募集 （令和6年1月26日から同年2月24日まで）
令和6年3月29日	多摩都市モノレール延伸部（箱根ヶ崎方面） 沿線のまちづくり有識者検討会（第5回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりのプロジェクトコンセプト（案） ・ 2市1町の検討状況について
令和7年1月31日	「多摩のまちづくり戦略」（案）公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都民等からの意見募集 （令和7年1月31日から同年3月3日まで）
令和7年3月28日	「多摩のまちづくり戦略」策定・公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩都市モノレール延伸部まちづくり「プロジェクトのコンセプト」を位置付け
令和7年6月26日	多摩都市モノレール延伸部沿線 まちづくり・プロジェクト検討会（第1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩都市モノレール延伸部まちづくり「プロジェクトのコンセプト」（多摩のまちづくり戦略（令和7年3月））について ・ プロジェクトのイメージについて
令和7年10月10日	同検討会（第2回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト案について
令和8年1月21日	同検討会（第3回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりに関する実施計画案について
令和8年3月23日	同検討会（第4回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくり実施計画（案）について
令和8年3月30日	「多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくり実施計画」策定・公表	

※ 詳細については、東京都都市整備局のホームページに掲載 https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/machizukuri/kozo_seibi/kyoten_seibi/tama_senryaku
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/tamamonorail_machizukuri

参考2 都民等からの意見募集

- 令和7年11月に、多摩都市モノレール延伸部のまちや駅のイメージについて、都民等の皆様からの意見募集を実施した。

【期 間】	令和7年11月12日（水曜日）から同月26日（水曜日）まで
【内 容】	<p>都民の皆様が思い描くまちの風景や各駅のイメージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩都市モノレール延伸部沿線が、今後どのようなまちになってほしいですか？ ・ 多摩都市モノレール延伸部沿線のまちの好きなところは何ですか？ ・ 多摩都市モノレール延伸部沿線のまちでどのようなことをしてみたいですか？ ・ まちの風景の中でどのような駅があると良いと考えますか？ ・ まちの風景の中でどんな駅になってほしいですか？
【意見総数】	231件

※ 詳細については、東京都都市整備局のホームページに掲載 <https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/toshiseibi/2026-02-10-002837-776>

参考3 地元市町の計画

- 多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくりに関する地元市町の主な計画について、以下のとおり示す。

東大和市	東大和市都市マスタープラン（令和7年3月）	https://www.city.higashiyamato.lg.jp/shisei/machizukuri/1011120/1011133/1011134.html
武蔵村山市	多摩都市モノレール沿線まちづくり方針(令和7年3月)	https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/shisaku/machizukuri/1002063/1017864/1021694/1017829/index.html
瑞穂町	多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画(令和7年3月)	https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kankyo/001/006/p010255.html

参考4 まちづくりの支援制度

- 地元自治体による、多様な主体との連携、交通基盤をいかしたまちづくり、地域特性をいかした広域的なまちづくり等を支援する制度について、以下のとおり示す。

<p>まちづくりマッチングシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民学が連携するプラットフォームとして、様々な主体が持つ専門性や強みを組み合わせて、地元自治体のまちづくりを促進 ・ 課題解決に資する技術やノウハウ、知見を有する団体を事前に登録し、地元自治体とマッチングさせ、まちづくりに最適なメンバーを組成し地域での取組を推進
<p>新たな道路・交通ネットワークをいかしたまちづくり支援制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに整備する広域的な道路・交通ネットワークの沿線周辺において、ハード・ソフトの先進的なまちづくりに取り組む地区を選定し、地元自治体の行うまちづくりの検討を支援
<p>特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政界を越えた地域特性を有するエリアのまちづくりを促進するため、又は、地域資源としての既存ストックが集積するエリアのストック活用型のまちづくりを誘導するため、「特徴を踏まえたエリア」の将来像を地元自治体と連携して定め、地元自治体の取組をパッケージにして支援

※ 都の各局が展開するハード・ソフトのまちづくりに関する支援制度の詳細について、東京都都市整備局のホームページに掲載
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/machizukuri/kozo_seibi/kyoten_seibi/tama_shien

多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくり実施計画

令和8（2026）年3月発行

編集・発行：東京都都市整備局多摩まちづくり政策部多摩まちづくり推進課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話：03（5388）5473

東京都ホームページ：<https://www.metro.tokyo.lg.jp/>

掲載されている画像の一部は、ピクスタから提供を受けています。